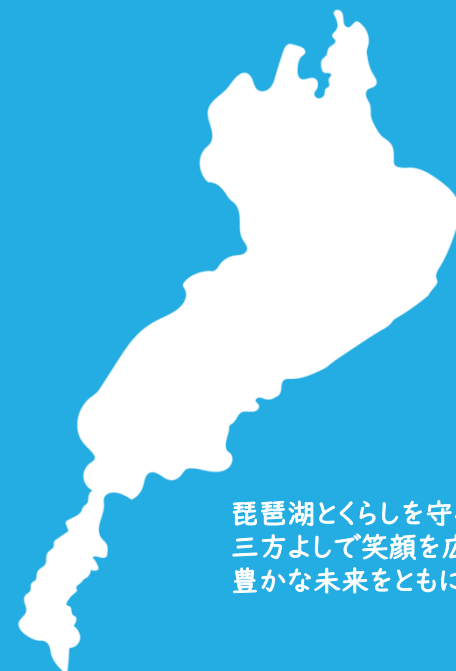


「輝く」いまを、ともにいきる 「健康しが2.0」

令和7年度(2025年度)
滋賀県予算案および組織改編案

2025年2月3日
滋賀県



琵琶湖とくらしを守る。
三方よして笑顔を広げる。
豊かな未来をともにつくる。

令和7年度は…

いよいよ「**わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ**」「**大阪・関西万博**」**輝く1年**に

- ▶ 国スポ・障スポ、万博の取組に全力を尽くすとともに、レガシー創出につなげる
“レガシー2025” 5つのテーマ ①_子ども・若者 ②_サステナブル ③_いのち・ひと ④_魅力・つながり ⑤_共生
- ▶ 一人ひとりのいのち輝く
あらゆる施策の基礎に、**人権、ジェンダー平等、子ども、次世代、未来、食**などの視点を置く

開催まで、あと
万博……69日
国スポ……237日
(会期前……215日)
障スポ……264日



「琵琶湖保全再生法」施行から10年

昨年末には、国連で8月27日が「**世界湖沼の日**」に制定

- ▶ 琵琶湖をお預かりする責任 / MLGsの進化、水の価値、湖沼の価値を発信



戦後80年、阪神・淡路大震災から30年、能登半島地震から1年

笑顔のもとは、無事、安全、平和

- ▶ **平和**への思いを強く持ち、暮らしの**安全、防災**をより意識する1年に



令和7年度予算案に込めた思い



琵琶湖をはじめ自然の中で ともにいきること

世界 とともにいきること

すべてのひとといきものと 未来へともにいきること

「**輝く**」いまを、ともにいきる
「健康しが2.0」

■ 重点テーマ

「国スポ・障スポ」「大阪・関西万博」の取組およびレガシーの創出

■ 施策の柱

柱① 子ども・子ども・子ども

柱② ひとづくり

柱③ 安全・安心の社会基盤と健康づくり

柱④ 持続可能な社会・経済づくり

柱⑤ CO₂ ネットゼロ社会づくりやMLGsの推進

■ 集中的な取組

県北部地域の振興

+ 限りある経営資源(ヒト・財源)を、真に必要な施策へシフト



一般会計当初予算案の規模および財源不足への対応

- 一般会計当初予算案は、新型コロナウイルス感染症対策を除いた予算規模として過去最大となる6,462億円
- 収支差として生じた財源不足額104億円に対しては、基金取崩しや県債発行により対応

令和7年度	令和6年度	対前年度比
6,462億円	6,145億円	+317億円 (+5.2%)

歳入のポイント

- ・ 県税 +157億円 (+8.8%、1,793億円→1,950億円)
 - うち個人県民税 +83億円
 - うち法人二税 +53億円
 - うち地方消費税 +25億円

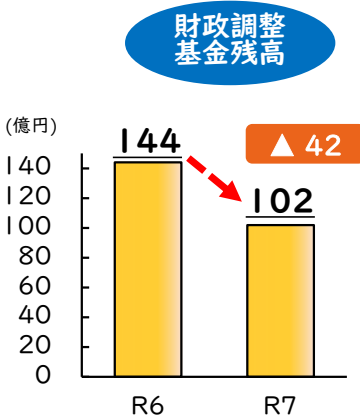
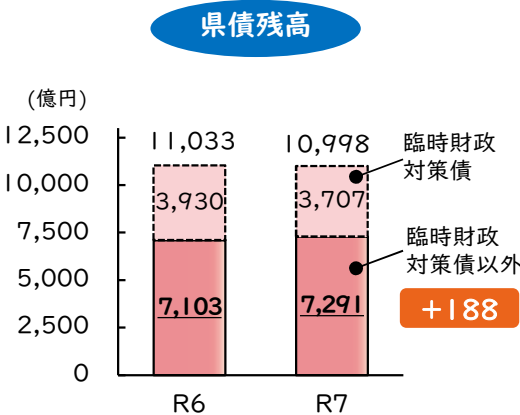
歳出のポイント

- ・ 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」開催経費の計上 +93億円
- ・ 県税交付金等の増 +70億円
- ・ 後期高齢者医療などの社会保障関係費(扶助費)の増 +35億円

財源不足への対応

・ 歳入から歳出を差し引いた財源不足額は、県税の増加等により前年度から縮小(▲78億円)したものの、依然として104億円と引き続き高水準の財源不足が生じたため、財政調整基金の取崩し等によって収支均衡を図る

財源不足額104億円	財政調整基金取崩し	42億円
	県債管理基金取崩し	6億円
	行政改革推進債発行	56億円



ヒト・財源の配分のシフト(事業見直し)

○全庁的に既存事業や業務の見直しを進め、**新たな行政需要等へヒト・財源の配分をシフト**

ヒト

事務事業の見直しや効率化等を重点的に検討し、**33人分**を見直し



見直しの事例

「広域型施設の大規模修繕・耐震化整備事業」 138,990千円
・不足する介護施設整備を推進するため、修繕等を目的とする事業から、「地域密着型サービス施設等整備事業」へシフト

「ひとり親家庭総合サポート事業」 28,990千円
・事業内容を再構築し、ニーズの高い支援を実現できるようブラッシュアップ

「しがジョブパーク事業(変化の時代に対応する組織づくり支援事業)」 17,005千円
・事業の進捗状況を踏まえ、「人的資本経営に向けた経営層のマインドチェンジ促進事業」等の新たな事業に見直し

新たな行政需要等への対応にシフト



総務部 人事課 (内3153) 財政課 (内3196)

○ 知事部局本庁の組織数

令和6年度	11部局等	5局	64課	52室
令和7年度	11部局等	5局	65課	54室

※ 部局等：知事公室、部、会計管理局

【増減内訳】	課 + 1	用地事業支援課	(掲載_P52)
	室 + 3	大学連携推進室	(掲載_P40)
		医療福祉連携室	(掲載_P42)
		子どもの権利室	(掲載_P21)
	△ 1	用地対策室	

令和8年度に向けて

- 国スポ・障スポ大会の開催を通じて生まれた**滋賀のレガシー**を次世代に引き継ぐとともに、**交通・まちづくりなど、関係施策との連携**を通じて、さらなる充実と展開を図るため、令和8年度に向けて、**文化スポーツ部のあり方**の検討を進めます。
- ライフラインである**上下水道の経営の持続性**を高めるため、令和7年度から開始する**次期行政経営方針(令和9年度～)**の検討に併せて、今後の事業や組織のあり方等について、**市町の意見を伺いながら、関係所属(下水道課、生活衛生課、企業庁等)による議論**を進めます。
- 北の近江振興に係る施策をより効果的・効率的に実施するため、国スポ・障スポ大会終了後の令和8年度に向けて、関係事業を所管する担当者等を現地に駐在させる**新たな組織体制の構築**について検討を進めます。

(知事部局)

令和7年度は、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催、児童虐待防止対策、公共事業への対応など、県政の重要課題に的確に対応していく必要があります。

引き続き、不断の取組として、事務事業の見直しや業務の効率化、部局間および所属間のリバランス等の徹底による減員を図りつつも、重点施策を着実に推進できるよう、**知事部局全体で32人の増員**を行う改正条例案を県議会令和7年2月定例会議に提案します。

令和6年度 3,463人

令和7年度 3,495人(+32人)

■ 主な増員要素 (知事部局)

- 国スポ・障スポ大会開催対応 +8人
- 子ども家庭相談センターの体制強化 +18人
- 公共事業対応 +6人

(警察本部：警察官)

最近の厳しい治安情勢を踏まえて、既存の人員で対処し難い緊急の課題に的確に対応していくため、**本県警察官の政令定員が60人増員**となることに伴う改正条例案を同じく2月定例会議に提案します。

令和6年度 2,312人

令和7年度 2,372人(+60人)

■ 増員要素 (警察本部)

- サイバー空間における対処能力の強化
- 匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取締りの強化

職員定数について(その他)

(教育委員会)

事務局の定数に関すること 教育総務課(内4510)
県立学校の定数に関すること 教職員課(内4532)

	令和6年度	令和7年度
① 教育委員会事務局	+15人 (200人)	→ 215人)
② その他教育機関 および県立学校	△19人 (3,858人)	→ 3,839人)

■ 主な増員要素 (教育委員会事務局)

- 特別支援学校新設対応 + 1 人
- インターハイ開催準備対応 +11人

(参考) 小・中学校、警察本部

小・中学校の定数に関すること 教職員課(内4510)
警察本部の定数に関すること 警務部警務課(内2630)

	令和6年度	令和7年度
① 小・中学校の教職員	+109人 (8,586人)	→ 8,695人)
② 警察官	+60人 (2,312人)	→ 2,372人)
警察官以外の警察職員	± 0 人 (307人)	→ 307人)

「国スポ・障スポ」
「大阪・関西万博」の取組
およびレガシーの創出

重点テーマ

「国スポ・障スポ」「大阪・関西万博」の取組

【予算額 128億円】



多様な関わりと協力を得ながら、オール滋賀で「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の開催および「大阪・関西万博」への参画を進めるとともに、それらを契機に生まれた有形無形の価値やつながりが、滋賀のレガシーとして次世代に引き継がれるよう取組を推進

開催に向けた取組

滋賀らしい大会へ

大会準備の加速

さらなる機運醸成

- ・競技会場の準備・支援
- ・選手育成、競技力向上
- ・児童生徒の参画・観戦
- ・MLGs宣言の実践
- ・来県者おもてなし企画
- ・ユニバーサルデザイン
- ・〇〇日前イベント開催 など

大阪・関西万博との連携

万博テーマとの共通項「輝く」を踏まえ相乗効果を図る



- ・盛り上げへ広報イベント等における連携
- ・万博スタッフの帽子(ヨシ素材活用)を開会式のプラカードにも採用



いよいよ開催!! わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

国スポ 本会期:9/28~10/8

障スポ 会期:10/25~10/27

会期前競技:9/6~9/15 9/21~9/25

国スポ: 天皇杯・皇后杯獲得を目指した滋賀県選手団の活躍!!

障スポ: 全種目選手出場!!



2025年国スポ・障スポ開催
みんなが輝く大会に!!



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

滋賀らしい取組

環境配慮

カーボンオフセット、リユース食器の使用、ウォーターサーバー設置によるマイボトルの推進 など

おもてなし

ボランティア文化の醸成、安全安心な大会づくり、多様な参画者・来場者へのおもてなし など

共生社会

競技会場等のバリアフリー対策、心のバリアフリー研修、入場料金の障害者減免 など



目指せ 滋賀「発」の取組

熱中症対策
ガイドライン

環境対策
ガイドライン

新たな
宿泊要項

⇒「滋賀の大会は、素晴らしかった!」と語り継がれるような大会へ



レガシー2025を次世代に引き継ぐ
健康しが・自分らしさに向けた
「ここからわたしの健康」と「元気なしが」の実現

文化スポーツ部
国スポ・障スポ大会局
(内3322)

「大阪・関西万博」の取組

参加テーマ

「Mother Lake ～びわ湖とともに脈々と～」

【予算額 5.8億円】

多様な主体の関わりと協力を得ながら、オール滋賀で「大阪・関西万博」への参画を進めるとともに、それらを契機に生まれた有形無形の価値やつながりが、滋賀のレガシーとして次世代に引き継がれるよう取組を推進

万博を活用した滋賀の発信（認知度向上、誘客促進、商機創出、移住促進）

総合企画部
万博推進室（内3320）

万博会場内での取組

常設展示

関西パビリオン内「滋賀県ブース」展示・運営



- ・滋賀の豊かな自然と、人々の暮らし・文化を紹介映像・音・光を用いた空間アートで滋賀の魅力を発信
- ・県産品の活用により、本県の素材や技術を世界に発信



イベント

万博会場内での催事実施による滋賀の発信
（出展・出演団体は公募も併せて実施）



関西パビリオン多目的エリア

滋賀魅力体験ウィーク ～Discover Shiga, Go Lake Biwa～

- ・ワークショップや体験ブースの実施により、滋賀の魅力を多角的に発信
県内団体や企業、市町等の多様な主体が出展
Week1: 6月24日～6月29日 テーマ「健康しが」
Week2: 8月27日～9月1日 テーマ「MLGs」

EXPOホール（大催事場）滋賀県デイ ～びわ湖サマークルーズ～

- ・「うみのこ」に乗船して県内を巡る設定で、文化芸術や伝統芸能等の紹介や滋賀ゆかりの著名人が出演するステージにより、滋賀の魅力を発信
開催日: 7月24日

万博と滋賀をつなぐ取組

子どもたちの招待

- ・万博会場で様々な展示や催しに触れることで、子どもたちが自らの将来について考えるきっかけを提供
- ・対象者: 満4歳～高校生
- ・内容: 教育旅行または個人・家庭で1人1回は入場料無料（県が負担）で万博訪問の機会を提供



しがっこWEB万博

- ・ネット上のイラスト投稿やバーチャルの万博体験などで、会場に行けない子どもたちにも万博を体験できる機会を提供

ECサイト活用による海外向け販路開拓支援

- ・海外へ販売可能なECサイトを活用し、滋賀県産品を取り扱う県内事業者の海外販路開拓を支援

Tech Tour SHIGA（海外企業等向けビジネス視察相談窓口）

- ・海外政府・ビジネス関係者に県内の視察先を提案・調整

いこうぜ♪滋賀・びわ湖（観光キャンペーン）

- ・万博の機会を生かした観光PR
- ・NFTを活用した会場から滋賀への誘客も実施

滋賀県内での取組

滋賀EXPOミュージアム

- ・滋賀ならではの地域資源やイベント等をミュージアムに見立てて一体的に発信



- 県内美術館等が連携して取り組むキッズミュージアム事業
- 彦根城世界遺産登録推進・安土城築城450年祭に向けた取組
- 琵琶湖博物館の取組を通じた滋賀の魅力発信・誘客促進
- オープンファクトリーの推進 等

- ・滋賀県万博推進ロゴマークの展開

多様な主体が県内で開催する万博関連イベントの統一マークとして全県に展開



推進組織「万博しが」

- ・県内の各主体が行う関連取組の情報共有
- ・万博への参画に関する問合せ窓口（事務局）

「国スポ・障スポ」「大阪・関西万博」のレガシーの創出

湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025



着実な開催準備・運営・参画 ～国スポ・障スポ開催・万博参画に向けた取組～
国スポ・障スポ大会局、スポーツ課/万博推進室

➤ 「する」「みる」「支える」全ての人が輝ける大会

➤ 未来へのスタートとなる大会 ～環境配慮、共生社会、おもてなし～



➤ 万博会場での滋賀の魅力発信と県内への誘客

➤ 次世代を担う子どもたちの万博への招待

レガシー創出のための全庁的な取組

～国スポ・障スポ、万博を契機とした創出・既存取組の進展～

- **魅力発信ページの構築【知事公室】**
- 「世界とつながる滋賀」の推進【総合企画部】
- 「ピワコ」の活用による誘客促進、かわり創出【総務部】
- スポーツを楽しむ（「する」「みる」「支える」）環境づくり
新しいスポーツの推進
彦根城世界遺産登録推進・安土城築城450年祭に向けた取組
【文化スポーツ部】
- 琵琶湖博物館の取組を通じた滋賀の魅力発信・誘客促進
【琵琶湖環境部】
- 海外企業等向けビジネス視察相談窓口「TechTourSHIGA」設置
ECサイト活用による海外向け販路開拓支援
オープンファクトリーの推進
「世界とつながる滋賀」を意識した観光誘客
大型イベント等を契機とした観光誘客の展開【商工観光労働部】
- 知って驚き、食べて実感「しがの農業・水産業」【農政水産部】
- 大会コースへの記念看板等設置、ピワイチコースとの連携
THEシガパークの国内外への情報発信・官民連携
舟運による大阪～伏見～疏水～琵琶湖のつながり発信・誘客
地域ニーズにあった新たな「ライドシェア」試行運行への挑戦
【土木交通部】



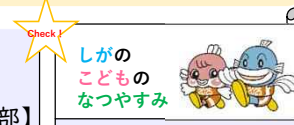
- 次世代を担う子どもたちの万博への招待【総合企画部】
- 子ども・若者の視点に立った文化振興【文化スポーツ部】
- 子ども・若者の意見を聴き、ともに施策を考える気運の醸成【子ども若者部】
- 子ども・若者が気軽に練習できるスケボーエリアを設置【土木交通部】
- グローバルユースの育成 中高生のスポーツ活動支援
令和8年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催準備 【教育委員会】

- 新しい暮らし方の提案～暮らし方改革～【総合企画部】
- BIWA-TEKUスタンプラリーを通じた健康づくりの機運醸成【健康医療福祉部】
- 会場アクセス道路上への大会ロゴ等標識標示【土木交通部】

- 障害者スポーツの普及啓発・振興【文化スポーツ部】
- 国スポ・障スポへの障害当事者の参画促進
【文化スポーツ部・健康医療福祉部】
- 「世界とつながる滋賀」の推進（再掲）【総合企画部】
- 万博での英語版を含む「琵琶湖ハンドブック」（概要版）情報発信（再掲）
【琵琶湖環境部】

- 万博での英語版を含む「琵琶湖ハンドブック」（概要版）情報発信
下流府県と連携した河川流域での清掃活動
国スポ・障スポ開催前のおもてなし清掃
プラごみ、食品ロス削減の取組事例集作成【琵琶湖環境部】

- プラごみ削減のためのマイボトル持参推進
【文化スポーツ部】
- 防犯・交通安全情報の発信高度化、サイバーセキュリティ
対処能力向上、テロ対策の推進【警察本部】



①_子ども・若者

子ども・
若者

□次世代を担う子どもたちの万博への招待

【総合企画部】

滋賀の将来を担う子どもたちが、万博で世界の様々な文化や知見、技術に触れることで、興味や得意分野を自覚し、将来進みたい方向性や、社会の課題にチャレンジする姿勢などを育むきっかけに。



□子ども・若者の視点に立った文化振興

【文化スポーツ部】

万博会場等において県内美術館等が連携してキッズミュージアム事業を展開するなど、文化芸術を通じて子どもたちの育ちや学びを支え、自分らしく生きる力を育む機会を提供。

□子ども・若者の意見を聴き、ともに施策を考える気運の醸成

【子ども若者部】

□春日山公園、奥びわスポーツの森にスケボーエリアを設置し、子ども・若者が気軽に練習できる環境を提供

【土木交通部】

□グローバルユースの育成

【教育委員会】

姉妹都市ミシガンでの学びや、多様な学生との協働による国際会議を通じて、滋賀県や世界が抱える諸課題の解決に貢献できるグローバルリーダーを育成。

□中高生のスポーツ活動支援

【教育委員会】

トップレベルの環境で活動することによる選手のモチベーション向上を通じた競技の底上げや、競技者の拡大につながる好循環をつくる。

□令和8年度全国高校総合体育大会(インターハイ)の開催準備

【教育委員会】

②_サステナブル

サステナブル

□万博での英語版を含む「琵琶湖ハンドブック」(概要版)による情報発信

【琵琶湖環境部】



□下流府県と連携した河川流域での清掃活動_万博開催前のおもてなし清掃_国スポ・障スポ

【琵琶湖環境部】

国スポ・障スポや万博の開催に向け、琵琶湖・淀川流域や大会会場周辺を中心に清掃を実施し、機運醸成と県内外に向けた環境美化意識の向上を図る。



□プラごみ、食品ロス削減の取組事例集作成

【琵琶湖環境部】

国スポ・障スポ、万博でのプラごみ、食品ロス削減の取組事例を収集し、ポイントをまとめた事例集を作成。開催に伴う環境負荷の低減を図るとともに、優良事例の水平展開を図り、環境配慮意識の向上と実践につなげる。

□プラごみ削減のためのマイボトル持参推進

【文化スポーツ部】

□ガイドライン作成(環境・熱中症対策)

【文化スポーツ部】

□防犯・交通安全情報の発信高度化、サイバーセキュリティ対処能力向上、テロ対策の推進

【警察本部】

③_いのち・ひと

いのち・ひと

□新しい暮らし方の提案～暮らし方改革～

【総合企画部】

これまでの暮らしを見つめ直し、多様性が最大限尊重され、豊かで充実した自分らしい暮らし方を一人ひとりがデザインできる社会をめざす。

この1つの取組として来年度は、子どもをターゲットとした学習・体験活動等を一元的に集約し、「**しがのこどものなつやすみ**」としてパッケージ化。子どもの自由時間の使い方の1つとして提案。



□選手の育成システムの継承・セカンドキャリア支援

【文化スポーツ部】

□BIWA-TEKUスタンプラリーを通じた健康づくりの機運醸成

【健康医療福祉部】

健康推進アプリBIWA-TEKUを活用したスタンプラリーの実施により国スポ・障スポの各会場等を周遊していただくことで、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらうきっかけを提供し、健康づくりに対する意識や行動を促し、健康寿命延伸に繋げる。



□国スポ・障スポ会場へのアクセス道路上での大会ロゴ等標識標示

大会後の施設利用を促進。

【土木交通部】

⑤_共生

共生

□障害者スポーツの普及啓発・振興

【文化スポーツ部】

国スポ・障スポの開催を契機に、多くの関係団体との協議の場を作り、障害あるなしにかかわらず、誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる滋賀づくりに生かす。



□ボランティア文化の醸成

【文化スポーツ部】

□国スポ・障スポへの障害当事者の参画促進

【文化スポーツ部・健康医療福祉部】

障害のある方も開閉会式等への積極的な参画や試合の観戦ができる環境を整えることにより、障害をはじめとする多様性への理解を深めることで、合理的配慮の定着やユニバーサルデザインの取組の広がりにつなげる。



□「世界とつながる滋賀」の推進

【総合企画部】

万博を契機とした様々な主体との交流促進、県民の多様な文化に対する理解を深めるとともに、「滋賀ファン」の増加・定着につなげる。

□万博での英語版を含む「琵琶湖ハンドブック」（概要版）による情報発信（再掲）

【琵琶湖環境部】

④_魅力・つながり

魅力・
つながり

□魅力発信ページの構築

【知事公室】

県HPに、滋賀のみる、買う、食べる等の情報を一覧性を持たせて発信するページを構築。



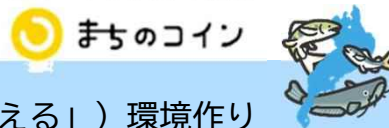
□「世界とつながる滋賀」の推進（再掲）

【総合企画部】

□「ビワコ」の活用による誘客促進、かかわり創出

【総務部】

万博や国スポ・障スポ大会を契機に滋賀や関西を訪れる方々に、本県の魅力や移住情報の発信。関係人口や移住者の創出を目指す。



□スポーツを楽しむ（「する」「みる」「支える」）環境作り

【文化スポーツ部】

□eスポーツ推進

【文化スポーツ部】

□彦根城世界遺産登録・安土城築城450年祭に向けた取組

【文化スポーツ部】

□「世界とつながる滋賀」を意識した観光誘客

【商工観光労働部】

✓ 大型イベント等を契機とした観光誘客の展開

「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」キャンペーンの実施や「戦国」を活かした誘客の促進。WEBサイトで国スポ・障スポ各競技会場周辺の観光スポットを紹介する特設ページを開設し、観光周遊を促進。

✓ インバウンド誘客の強化

重点市場の東アジアや開拓市場である欧州からの誘客事業を強化。

✓ 誰もが楽しめるビワイチの推進

気軽なサイクリングモデルプランの造成・発信や自転車、トライアスロンの国スポコースをビワイチアプリで発信。



□海外企業等向けビジネス視察相談窓口「Tech Tour SHIGA」設置

【商工観光労働部】

□ECサイト活用による海外向け販路開拓支援

【商工観光労働部】

万博を機に来訪される海外の方等に対して、越境ECサイトを活用し、魅力ある県産品をPR・販売することで、県内事業者の海外販路開拓を後押し。

□オープンファクトリーの推進

【商工観光労働部】

万博を好機に、県内企業が製造現場を公開する取組を後押しすることにより、企業の認知度向上や将来的な人材確保につなげる。

□知って驚き、食べて実感「しがの農業・水産業」

【農政水産部】

- ✓ 世界農業遺産「琵琶湖システム」や「きらみずき」「みおしずく」の情報発信。（万博）
- ✓ ご当地グルメ「びわ湖魚グルメ」の魅力発信、「近江牛」や「県産牛乳」の試食・試飲、「みおしずくスイーツ」の販売。（国スポ・障スポ）



□大会コースへの記念看板等設置とビワイチコースとの連携

【土木交通部】

□THEシガパークの国内外への情報発信・官民連携

【土木交通部】

□舟運による大阪～伏見～疏水～琵琶湖つながり発信・誘客

【土木交通部】

□地域ニーズにあった新たな「ライドシェア」試行運行への挑戦

【土木交通部】

会場や観光地等への移動ニーズを補完し、おもてなしの向上を図るとともに、課題や可能性を検証しながら地域特性に応じた地域交通ネットワークの確保・充実につなげる。

新しい暮らし方の提案(暮らし方改革)

【予算額:2,105千円】



1年365日、1日24時間の使い方を考える

～自分らしい時間の使い方を見つめ直す～

【目指す姿】

- ・多様な働き方、休み方、暮らし方で、全ての人が自分らしい時間が過ごせるインクルーシブな社会
- ・一人ひとりが職場、地域でいきいきと活動できる社会
- ・地域の人と共に支え合い、豊かな暮らしが叶う滋賀の実現

【背景・課題】人口減少・少子高齢社会の到来

- ・企業や地域社会などでの人材不足、担い手不足
 - ・SNSネイティブで多様性・自分らしさを大事にするZ世代
 - ・子どもの育つ環境の変化、地域での学びの場の減少
 - ・年齢、性別、国籍等に捉われない多様な人々が共生する社会への変化
 - ・大都市近郊の地域では、ベッドタウンとして通勤時間が長時間化
- ⇒ 持続可能な経済・地域社会の創造

【目的】これまでの暮らしを見つめ直し、多様性が最大限尊重され、豊かで自分らしい暮らし方を一人ひとりがデザインできる社会をめざす

推進方策

【暮らし方改革】

①県民等の意識改革

○暮らし方を考えるプラットフォームの設置

- ・県民、企業・経済団体、地域・市民団体等で時間の使い方を変える機運醸成
- ・新たな暮らし方の実現に向けた取組宣言、情報発信、仕組みの検討

②自由時間のコンテンツの提案

○国スポ・障スポの応援やボランティア体験、万博の訪問

○体験的な学び・遊びの場の提供

・しがのこどものなつやすみ

子どもが体験できる施設等の場・機会の提供

・地域との交流等の暮らし体験

地域ならではの仕事に従事しながら、滞在型観光、地域の人との交流等の暮らしを体験

・しがのふるさと応援隊

農山村地域に関わる機会を通じ、農山村の魅力を体感・発信

○健康づくり活動の推進 など

暮らし方、時間の使い方に対する価値観や過ごし方の社会変革 -総合的な仕組みづくり-



【休み方改革】

③大人も子どもも充実した新しい暮らしのための仕組みづくりの検討

大人と子どもと一緒に休み、遊び・学び・体験できる仕組みの検討

【働き方改革】

④自由時間の創出

暮らし・産業・行政の各分野のDXの一層の推進

生産効率の向上や、ワンストップ行政サービスの実現

→ワーク・ライフ・バランス推進や多様な休暇制度の

導入、休暇が取りやすい職場環境づくり



NPOとの協働による
情報の見える化

体験の場・活動を
一元的にマップに
掲載

エリアやカテゴリー
で検索できる仕組み
の構築

総合企画部
県民活動生活課(内3419)

しがのこどものなつやすみ 2025

自分らしい時間の使い方を見つめなおす「暮らし方改革」の1つの取組として、子どもをターゲットとした学習・体験活動等を一元的に集約し、「しがのこどものなつやすみ」としてパッケージ化。子どもの自由時間の使い方の1つとして提案

総合企画部
県民活動生活課(内3419)

国スポ・障スポ

- トップアスリートを競技会場で応援しよう
「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」

大阪・関西万博

- 万博で世界の文化や未来に触れよう
新 オープンファクトリー

農山村の魅力体験

- 棚田ボランティア「たな友」
- 滋賀の〈ふるさと〉の魅力・体験を発信
「しがのふるさと応援隊」

健康づくり

- ドクターヘリ見学会
- THE シガパーク

文化・スポーツ体験

- 美術館で夏祭り（キッズミュージアム、ナイトミュージアム）
- 新** 滋賀キッズミュージアムネットワーク事業
- いろんな文化財にふれてみよう「文化財の子」
- しがトップアスリートフェス
- しがこども体験学校
- 羊毛クラフト教室（自然・家畜・人がふれあう牧場）
- 「シガリズム」を体験しよう
- 新** 公共交通を使って出かけてみよう！「公共交通×子どもの学び推進」
- 文化ゾーン子ども探検隊

びわ湖の魅力体験・環境を守る活動

- 「びわ活」して、琵琶湖との関わり方を見つけよう
- 環境学習への誘い事業
- 下水道を入口とした環境学習

「世界湖沼の日」に関する学びも！

地域づくり・社会貢献

- 子ども×大人でつくる、滋賀の未来「こどなBASE」
- すまいる・あくしょんフェスタ
- 商店街等が実施するイベントの支援
「にぎわいのまちづくり総合支援事業」

滋賀・体験の日

・体験の充実による学びの充実
・「学習者が主体」の教育を推進

大阪・関西万博、国スポ・障スポ大会
を体験する機会の確保

県立学校の児童生徒が
万博、国スポ・障スポ大会に参加・観戦する
場合は、学校を「欠席扱い」しない

2025年国スポ・障スポ開催
みんなが輝く大会に！！

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

教育委員会事務局
高校教育課(内4571)
特別支援教育課(内4643)
幼小中教育課(内4665)

令和7年度滋賀県予算案
および組織改編案

- 子ども・若者の声を聴く
- 子どもの健やかな学びと育ち
- きめ細かな対応が必要な子ども・若者への支援
- 安心・安全な子育て環境の整備

子ども・子ども・子ども



施策の柱

子ども・若者の声を聴く

淡海子ども・若者プラン基本施策①、②

子ども・若者の意見を聴き、反映する仕組みづくり



「子どものために、子どもとともにつくる県政」を実現する。

【予算額 0.3億円】

いろいろな子ども若者の声を聴く方法を用意

滋賀県子ども基本条例

- ・ 児童養護施設等の子どもの権利擁護事業
- ・ 子どもの権利の侵害に関する相談窓口の設置



- ✓ 傾聴
- ✓ 他機関紹介
- ✓ 他機関直接連絡

- ⑨ 「子どもから知事への手紙」
県政学習コーナー・AIチャットボットによる「子ども県民の声ひろば」の充実・強化
- ・ 子ども県議会



- ⑨ さまざまな分野の若者のアイデアを施策に導入する「すまいる・あくしょんアイデアソン」



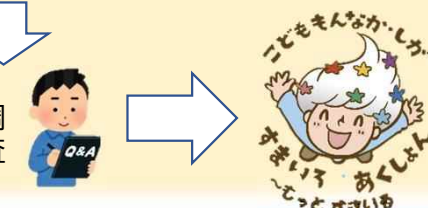
若者の若者による若者のための若者政策！

- ⑨ EBPMに資する「滋賀の子どもたちの声の調査」の実施と「すまいる・あくしょん」の更新



かつてはコロナが・・・
いまの子どもたちの思いは？

調査



- ⑨ 滋賀県子どもの権利委員会の設置による、子どもの権利侵害事案の個別救済

対応方針検討



当事者・関係者に対する調査・調整

救済



必要に応じて
知事に対し
措置の求め・意見

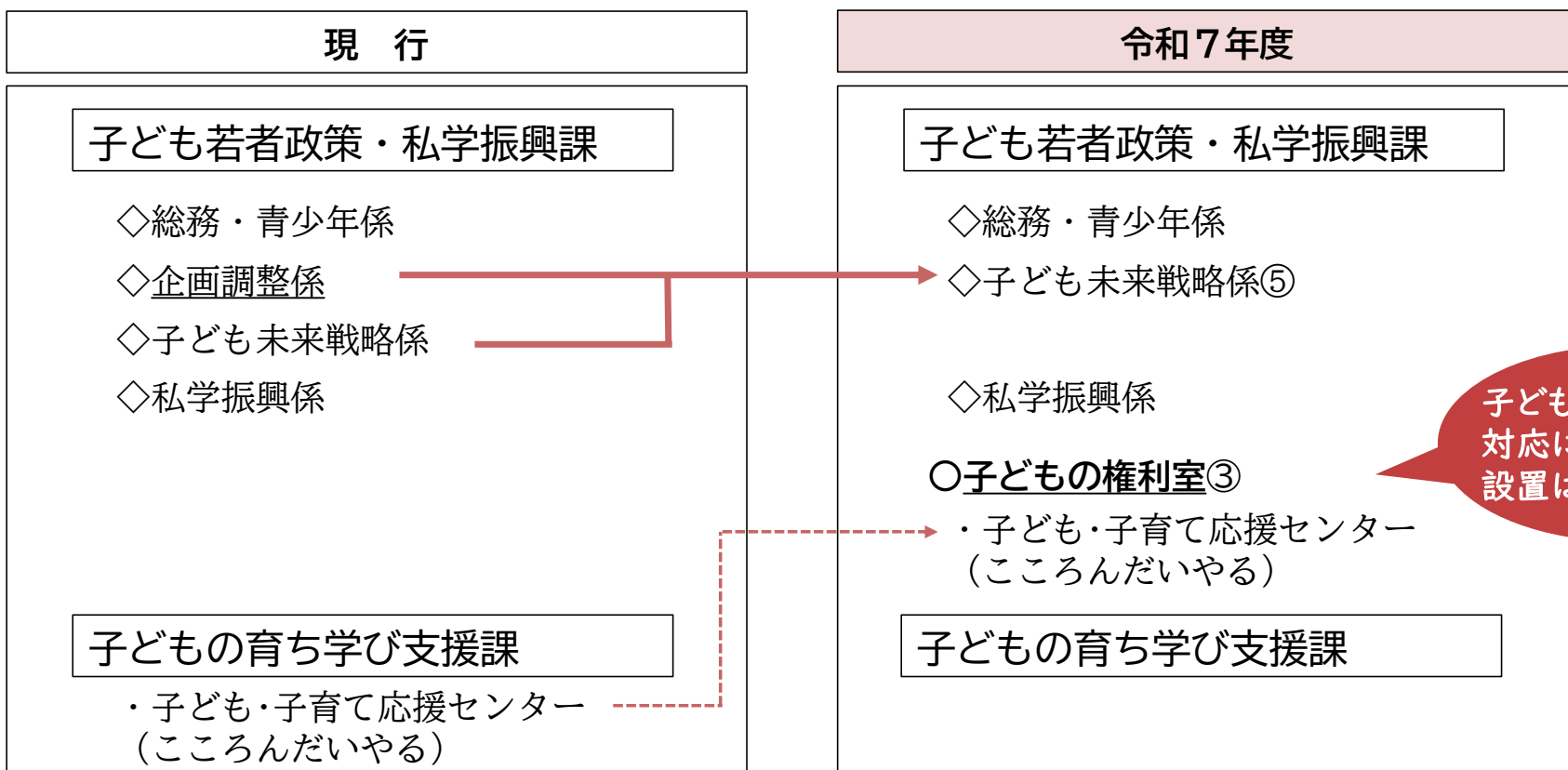
知事公室 広報課（内3046）

子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課（内3565）

子ども若者部に「子どもの権利室」を設置

▶ 子どもの声を聴く(子ども若者部)

○子どもの権利侵害の救済に向け、「滋賀県子どもの権利委員会」の運営や相談体制等を整備するため、新たに「子どもの権利室」を設置します。



子どもの権利侵害
対応に特化した室
設置は都道府県初!

子どもの健やかな学びと育ち

【予算額 4.0億円】



環境学習等を通じて、自然を感じ、自然に学ぶ子どもを育てる

環境学習に携わる新たな人材の育成・確保

- 実践の機会も備えた指導者講習の実施
- 新** 本県の環境学習をけん引するトップリーダー層の育成
- 自然体験イベントの開催
- 新** 生き物カードの収集による自然体験の促進
- 環境学習センターを窓口とする実習・研究備品の貸出
- 環境学習センターによる環境学習の講師紹介
- 淡海こどもエコクラブ事業による子どもの環境学習推進



森林を通じた学びの提供

- 自然保育や「やまのこ」など森林環境学習の推進
- 木とのふれあいを通じた学び「木育」の推進
- 就労体験や出前授業、伊香高校「森の探究科」との連携など、中学生以上の世代への学びの場の提供



淡海環境プラザや矢橋帰帆島、琵琶湖博物館環境学習センターを活用した環境学習

- 令和5年度より実施している淡海環境プラザのリニューアルを進め、帰帆島一帯を活用した環境学習の推進
- 令和7年度はプラザに入居中の国立環境研究所とも連携を図りながら、プラザ屋外を活用した環境学習を展開

- 拡** 環境学習センターによる相談対応、ネットワークづくり、環境学習用具の貸出等



子どもの健やかな学びと育ち



【予算額 5.3億円】

琵琶湖環境部
下水道課 (内4212)
森林政策課 (内3918)
自然環境保全課 (内3481)

民間活力導入や再整備実施等による公園の魅力向上を行う

近江富士花緑公園

「人と森つながる環」をコンセプトに、「森の入口」として、より身近に森や緑、木にふれることができる公園としての魅力を向上

企業等との連携

○企業と協働による施設改修および魅力向上



～R6

魅力アップ工
事の実施

R7～

リニューアル
オープン

R8～

魅力向上
取組実施

木育拠点施設整備

新 木育拠点施設「しがモック」のオープン



～R6

・全体構想まとめ
・第1期工事

R7

・「しがモック」
オープン
・第2期工事

R8～

グランド
オープン

矢橋帰帆島公園

何度でも訪れたい公園を目指すため、「子ども」、「びわ湖・矢橋帰帆・環境」、「健康」の視点で園内各ゾーンのさらなる有効活用

安全・安心な魅力ある遊具の整備

○子どもの広場の遊具を更新

1年
前倒し

～R7

R8

国スポまでに
一部供用

先行区画
供用

全部
供用

都市公園と連携した魅力的な公園づくり

○湖岸緑地につながる
周遊路を整備



駐車場有料化の検討を開始

○アンケート結果より料金体系等を
本格的に検討開始

自然公園(新旭浜園地、岡山園地等)

民間連携による公園管理の質の向上を図るとともに、自然環境・景観の保全と利用の好循環により、全ての利用者が安全で快適に楽しむ公園へ

新旭浜園地(高島市)

○再整備に向けた設計
○民間連携による維持管理
に向けて、関係者と協議



R7 設計

R8～ 再整備工事

R7～ 民間連携に向けた協議

岡山園地(近江八幡市)

○整備方針の策定
○湖岸道路からの眺望確保、
魅力向上のための樹木伐採



R7

整備方針策定

R8～

整備計画策定・実施

R7～ 通景伐採

その他(トイレ照明LED化、ホームページ作成)

子どもの健やかな学びと育ち

【予算額 9.2億円】



学びと発見の場としての琵琶湖博物館の魅力向上に取り組む

博物館の潜在的な魅力の「新たな発信」

新 琵琶湖博物館 魅力向上事業

- ・ 学びや発見に導く趣向を凝らした「ナイトミュージアム」の開催
- ・ 北部振興を意識した移動博物館・交流事業等の拡大実施

拡 琵琶湖博物館 戦略的魅力発信事業

- ・ 大阪・関西万博、国スポ・障スポ等を捉えた企画の展開
- ・ 広報営業戦略に基づくSNS等効果的な発信

拡 YouTube等による具体的な取組の紹介

拡 世界に向けた魅力の発信

- ・ 開館30周年(2026年)の企画展示に向けた海外博物館との連携強化
- ・ 韓国国立洛東江生物資源館との共催展示による琵琶湖の魅力発信
- ・ 「世界湖沼の日」記念事業の開催



「子ども・若者」の豊かな感性の具現化

拡 子どもや学生からの学び

- ・ (仮)ディスカバリーシートの作成・活用
- ・ 教員向けガイドブックの作成・活用
- ・ 淡海こどもエコクラブを通じた環境学習の深化
- ・ 展示などを通じた学生の学びの発表の場の提供



「安心安全で持続可能な博物館運営」の確立

拡 老朽化に対する適切な管理

- ・ 設備改修計画に基づく管理の徹底
- ・ すべての来館者への快適な滞在環境の確保

フィールドへと誘う「調査・研究成果」の提供

○デジタルミュージアム推進事業

- ・ いつでも、どこでも当館の資料や標本をホームページで閲覧できるとともに、展示にも活用
- 「琵琶湖いきもの図鑑」…3Dコンテンツや電子図鑑
- 「びわ博GIS」…生物分布デジタルマップ



いきもの図鑑トップページ

○第33回企画展示の開催

- (仮)埋もれた堤—古地図が語る村の治水史—
- ・ 近江盆地の成り立ちから、山地や河川の管理や土木技術についての歴史的展開を解説。古地図資料や歴史が作った景観を紹介。
- ・ 民間企業や行政、地域活動団体等との連携強化

企業・地域団体・大学との「交流・連携」

○企業等との連携活動の継続・推進

- ・ 連携協定企業との生物多様性総合保全活動
- ・ 「博・学・民」連携による環境学習教材の開発

○多様な主体との交流

- ・ はしかけ・フィールドレポーター・企業・地域活動団体等による交流の場としての「びわ博フェス」の開催



琵琶湖環境部
環境政策課 (内3350)

子どもの健やかな学びと育ち



水辺での子ども向け事業を「みずべのこ」としてブランド化し、内容充実や魅力向上を目指す

① 土木交通内部の水辺での子ども向け事業を「みずべのこ」としてブランド化し統一性をもって情報発信

② 教育委員会など、庁内部局とも連携

「みずべのこ」担当者が「うみのこ」の学習を見学し指導力を向上



滋賀県学習情報提供システム「におねっと」に「みずべのこ」で登録

子どもが安全に水辺に近づける親水護岸などを整備



親水護岸

土木交通部
流域政策局(内4270)

みずべのこ

湖岸緑地湖東湖北地区
流木アート教室



湖岸緑地大津地区SUP体験会



木の岡ビオトープ
自然観察会



家棟川ビオトープ
自然観察会



流域治水出前講座



砂防出前講座



子どもの健やかな学びと育ち 次世代の食の農を担う子どもの学び・食育・体験への支援



将来の本県農業・水産業の担い手やファンとなりうる「子ども・若者」世代への学び、食育・体験の機会を増やす。

【予算額 9.3百万円】

畜産の未来を担う農業高校学び支援プロジェクト



新 「しがの畜産」を学ぶ

農業高校生等の多様な学び・体験する機会を創造することで、畜産に対する魅力を深め、実践的な技術習得につなげるとともに、畜産の未来の担い手の育成を目指す。

○生産技術等の学びを支援

- ・畜産農家への研修
- ・畜産農家を高校の畜舎に招き、飼養管理技術に関する意見交換を実施

○獣医師職員による技術支援

- ・繁殖技術講習の実施
- ・全国規模の共進会等への出品指導

○取組・意見発表の指導支援

- ・プロジェクト発表等の指導支援



農業高校生等の

- ・全国規模の共進会等に向けた継続的な取組、畜産を学ぶ意欲の醸成
- ・畜産関係業務における社会参画

給食から始まり、つながる 地産地消推進事業



新 給食で地場農産物をいただく

学校給食に関わる人の思いをつなげ、地場農産物を学校給食へ安定して届ける地域内流通の仕組みを新たなモデルとして構築し、県内各地へ普及させることで、さらなる地産地消の推進・活性化につなげる。

○給食における地場産野菜使用率向上のための相互理解の促進

- ・生産者、流通販売事業者、給食関係機関等を構成員とするコンソーシアムを発足
- ・地場農産物利用における課題や目標、方針を検討し、解決に向けた取り組みを実施



○生産体制の強化

- ・生産に必要な機械等導入を支援

○供給体制の強化

- ・給食用食材の安定供給のための施設整備等を支援



地域の「食」に関わる「声」や「思い」をつなげ、子どもに届ける地産地消を推進。



「世界農業遺産」プロジェクト推進事業

新 琵琶湖システムを体験する

世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」を次世代へ継承するには、実際に触れて、体験することが重要であることから民間企業、大学と連携してその機会を創出する。

○世界農業遺産「琵琶湖システム」産学官連携事業

- ・企業や大学との連携による、滋賀の恵みを活かしたメニュー開発とオリジナルメニューブックの作成



企業×大学の開発メニューをWEB等でも広く発信



民間企業・大学等と連携し、琵琶湖システムの魅力を「子ども・若者」世代へ伝える。

農政水産部 畜産課 (内3852)
みらいの農業振興課 (内3845) 農政課 (内3825)

子どもの健やかな学びと育ち

確かな学力、豊かな心と健やかな体の育成



【予算額 54.6億円】

①「読み解く力」向上プロジェクト

「第Ⅲ期学び力向上滋賀プラン」のもと、「読み解く力」の取組を推進

・CBTデータを活用した「個別最適な学び」研究調査事業

データから「学びの伸び」を分析し、学びの状況に応じた指導や取組の効果について検証・改善を行う

・幼児期教育センター運営事業

幼児期教育センターの充実を図り、公私立、施設類型の垣根を越えて、幼児教育の質の向上を推進

・「こども としょかん」学校図書館応援事業

②「こどもととしょかん」サポートセンター運営事業

わかった！
できた！

わからない！
助けて！

学び力の
向上

③中高生のスポーツ活動支援

国スポ・障スポ大会のレガシーを子どもたちが体感できるよう、大会開催における国スポ・障スポ大会施設の活用を支援

・令和8年度全国高校総体(インターハイ)の開催準備

・部活動の地域連携・地域展開の推進

④子どもが輝く学校・園づくり研究推進

子どもの声が反映される学校・園づくりの実践研究



豊かな心と
健やかな体の
育成

⑤「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進に向けた

公立小中学校の1人1台端末の着実な更新支援

・県立学校のICT環境(校内ネットワーク)整備

・ICTを活用した指導力向上に向けた教員研修・研究事業のための整備

GIGAスクール
構想(第Ⅱ期)
の推進

特別支援教育
の充実

⑥「滋賀のめざす特別支援教育ビジョン」次期計画策定

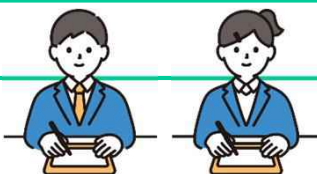
・副籍(副次的な学籍)制度の充実

・高等学校における特別支援教育の充実

・新設特別支援学校の整備など教育環境整備の推進

⑦特別支援学校の体育館空調整備

教育委員会事務局
教育総務課(内4511)
高校教育課(内4570)
幼小中教育課(内4661)
特別支援教育課(内4641)
人権教育課(内4591)
生涯学習課(内4651)
保健体育課(内4610)
図書館(077-548-9691)



子どもの健やかな学びと育ち 笑顔あふれる学校づくり



教員の人材確保

- ・滋賀の教師塾
- ・教員へのファーストステップ支援事業
- ・大学、高等学校への出前講座
- ・教員採用試験の工夫



教員が子どもと向き合える環境づくり



子どもたちの笑顔あふれる学校

【予算額 5.4億円】

教育委員会事務局
教職員課(内4531)
幼小中教育課(内4668)
保健体育課(内4610)

教員の資質能力の向上

- 指導力向上に向けた研修
- ・個々の教員の研修受講履歴に応じた、効果的・効率的な研修の充実
- ・「情報」免許取得促進のための現職教員の大学への受講派遣



多様な人材による「チーム学校」づくり

- ・教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の全校配置
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の配置
- ・副校長・教頭マネジメント支援のための支援員の拡充配置、非常勤講師の配置

働き方改革の推進

ICTを活用した校務支援

- ・採点支援システムを活用した答案のオンライン返却
- ・校務支援システムの改善

教職員の負担軽減に向けた対応

- ・小学校教科担任制の充実
- ・スペシャルサポートルーム(SSR)の加配
- ・生徒指導教員の加配
- ・高校新学科設置への加配
- ・大規模校(特別支援学校)への加配
- ・養護教諭の加配

きめ細かな対応が必要な 淡海子ども・若者プラン基本施策③

子ども・若者への支援 医療・福祉と教育の連携による子どもの育ちと学びの支援



すべての子どもに学びの機会と居場所を確保する。

【予算額 3.9億円】

- 学校に行きづらい、などの多様な子どもの存在
- みんなに、学びの機会と居場所が必要

学校内での取組

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの専門職の配置の充実
- 「心の健康観察」による心や体調の変化の早期発見
- 校内教育支援センターの整備と人員の配置強化
- ⑨ 医療に関するオンデマンド配信研修などによる教員の資質向上
- ⑨ いじめ対策マイスター制度のモデル構築
- 「子どもの自殺危機対応チーム」派遣支援による自殺危機への対応強化

誰もが安心して学ぶことができる学校づくり
子どもの異変兆候の初期段階での早期対応

学校外での取組

- ⑨ アウトリーチ支援の充実
- ⑨ 相談会、交流会などによる保護者支援
- ⑨ 地域における不登校の子どもへの切れ目ない支援のモデル的实施
- こころのサポートしが L I N E 相談体制の充実
- 地域の居場所づくりと支援のネットワークの構築支援
- ⑨ フリースクール等民間施設利用者支援

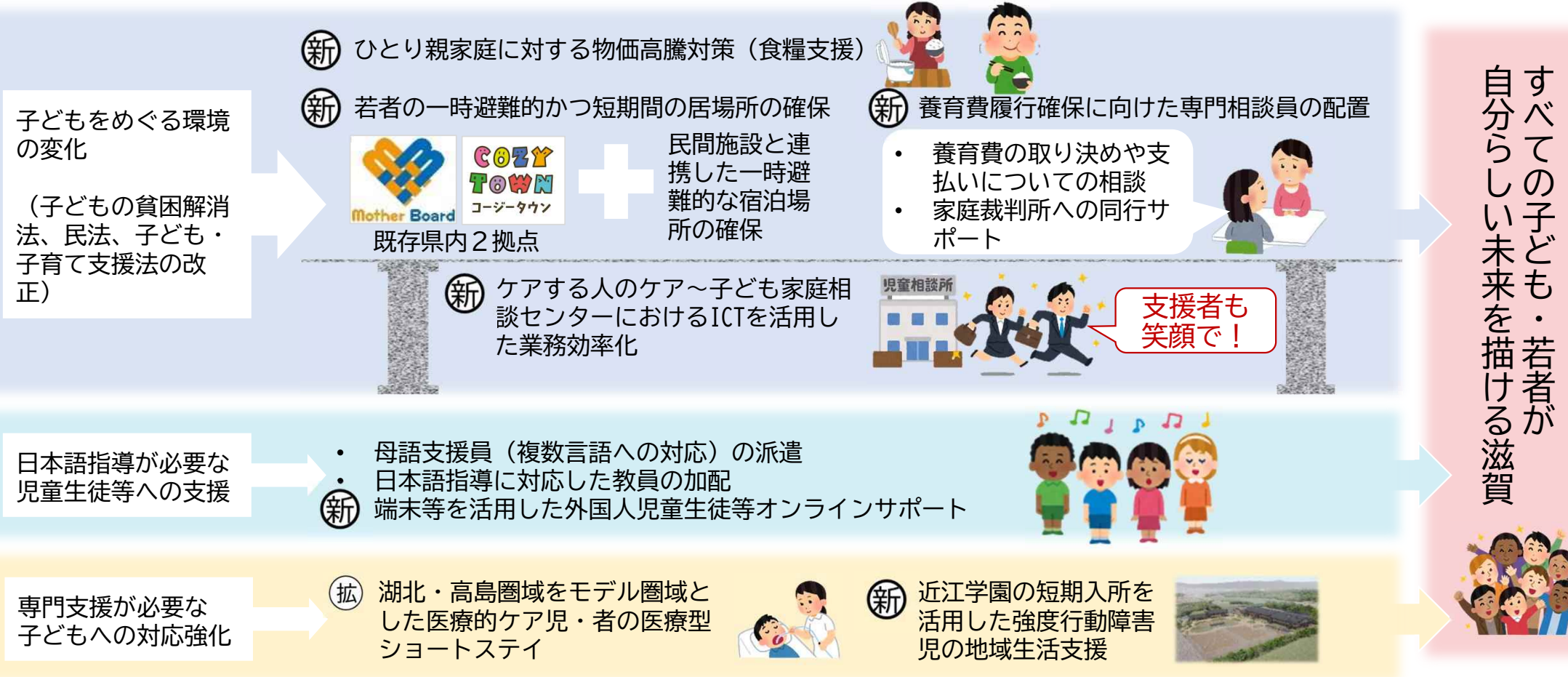
医療や福祉などの様々な関係機関・地域とも連携して支援

きめ細かな対応が必要な 淡海子ども・若者プラン基本施策④、⑤、⑥、⑧

子ども・若者への支援 困難な状況にある子ども若者が自分らしい未来を描くための支援



子どもの現在の困難解消と将来の困難の発生を防ぐ。 【予算額 7.3億円】



安心・安全な子育て環境の整備

淡海子ども・若者プラン基本施策⑦

若者が子育てしやすく、働きやすい社会づくり



【予算額 0.5億円】

子ども・子育てにやさしい社会、若者が働きやすい職場づくりの気運を醸成する。

- 子ども・子育てにやさしい社会づくりに向けた気運醸成



すまいる・あくしょんフェスタ

- 子ども連れや妊娠中の方へ配慮する取組を行う民間事業者等に対し費用の一部を補助



補助により整備された授乳室・子ども用便座



- ⑨ 奨学金返還支援等による若年層等の確保・定着【再掲】



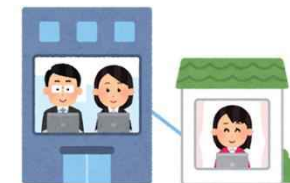
- ⑨ 地場産業後継者への実践的なインターンシップ支援【再掲】



- ⑨ 魅力ある職場づくりに取り組む中小企業の支援【再掲】



- ⑨ 在宅ワークを希望する人に向けたデジタルスキル習得と発注企業とのマッチング支援【再掲】



安心・安全な子育て環境の整備

淡海子ども・若者プラン基本施策⑦

保育を支える人材の確保



【予算額 90.4億円】



さしせまった課題である待機児童の解消に向けてのあらゆる手立てをとる。

保育士になりたい！

- ① 民間主体によるSNSを活用した魅力発信
- ② 保育士養成施設におけるキャリア教育等支援
- ③ **地域限定保育士試験**の導入



もう一度、
保育士として
働こう！

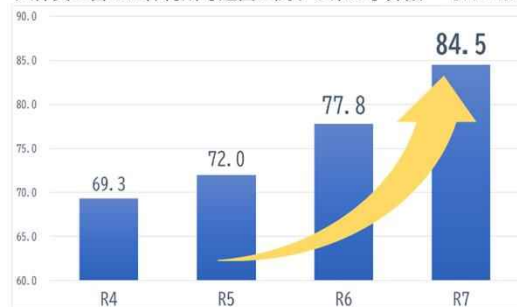
「潜在保育士の再
就職・就業」を強
力サポート

- ④ 保育士・保育所支援センター（人材バンク）の充実
 - 再就職支援研修&就職相談会を合同開催 R6から前倒しで実施
 - 保育現場体験の参加費用を有償支援 R6から前倒しで実施

保育士として
働きたい！

- 過去最大となる処遇改善（人件費10.7%）
- 保育補助者活用、保育DX推進による業務負担軽減
- 教育・保育指導員による巡回支援

人件費を含めた保育所等運営に関する県の予算額 [単位：億円]



保育士不足の解消

待機児童の解消

子ども若者部 子育て支援課（内3557）

安心・安全な

淡海子ども・若者プラン基本施策④、⑦

子育て環境の整備 プレコンセプションケアを中心とした切れ目ない母子保健の取組



【予算額 0.4億円】

子どもや若者が希望するライフプランの選択ができることを目指す。



プレコンセプションケア

- ⑧ 園や学校、地域団体等向けの講師派遣
- ⑨ 教職員向け研修
- ⑩ 一般向け啓発

本人が望む人生の選択
(性に関する自己決定)
ができるよう、正しい性
に関する知識を学ぶ



- ⑪ 妊娠可能世代を対象としたAMH検査とカウンセリングを含めた調査研究（産官学連携）

学童期
思春期

性成熟期

人生の選択

結婚したい？
子どもを持ちたい？
etc

妊娠準備
不妊治療

妊娠期

新生児期
乳幼児期

性ホルモンによる影響を
知り、上手に付き合うこ
とが健康に不可欠！

更年期
老年期



- ⑫ 県内どの地域でも1か月児健診が受けられる体制
- ⑬ 県下市町の事務の統一による、里帰り先でも利用しやすい産後ケア
- ⑭ 遠方の分娩取扱施設等で出産する妊婦への交通費と宿泊費の助成（妊婦健診時、分娩時）



- ⑮ 周産期における病院・診療所間の遠隔医療の推進



子ども若者部子育て支援課（内3557） 健康医療福祉部医療政策課（内3625）

- ジェンダー平等の推進・ダイバーシティへの取組
- 滋賀の未来を担うひとづくり
- 滋賀の医療福祉を担うひとづくり
- 滋賀の経済活動を担うひとづくり

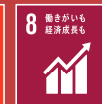
ひとづくり

2

施策の柱

ジェンダー平等の推進・ダイバーシティへの取組

ジェンダー平等の推進



ジェンダー平等に取り組むことで、ダイバーシティが確保された社会を目指す

【予算額 1.2千万円】
(その他関連事業除く)

ジェンダー平等のための



若い世代からの

ジェンダー平等推進事業

若い世代が主体的に学び・発信する
場を提供



パートナーしがプラン2025改定

- ・多様な主体や若い世代との対話
- ・より実効性のあるプランへ



ジェンダー平等債も一緒に議論

プランで掲げる目標を踏まえて、
地方自治体初の発行を目指して検討・準備

あらゆる分野でのジェンダー平等の取組

パートナーしがプラン2025その他関連事業：142事業

- ・女性の参画による防災力向上
- ・プレコンセプションケアの推進
- ・農業における「女性活躍」応援
- ・建設産業における女性技術者の表彰



など

商工観光労働部
女性活躍推進課 (内3770)

新「大人の学び、やりませんか？」事業

「ジェンダー平等」をテーマに社会人向けの
オンライン講座等を開催

働く場でのジェンダー・ギャップ解消

明日のおうみ女性リーダー育成プロジェクト

- ・企業トップ層の意識改革を進める
- ・マネジメント力等のスキルアップを図る



女性の起業トータルサポート事業

女性の起業チャレンジを応援

新女性起業家によるマルシェを開催



ジェンダー平等の推進・ダイバーシティへの取組

多文化共生社会づくり

総合企画部
国際課(内3063)



【予算額 3.8千万円】

国籍や民族などにかかわらず、すべての県民が同じ地域社会で共に生き、共に支え合える滋賀へ！
滋賀県多文化共生推進プラン(第3次改定版) 初年度の取組 【計画期間:令和7(2025)年度～令和11(2029)年度】

【現状】

- 県内外国人人口(各年12月末時点)
H30(2018)年 29,263人 → R5(2023)年 39,366人(過去最多)
出身国 は105の国・地域にわたる
- 在留資格制度の改正等により、今後も定住する外国人の増加が見込まれる。
- 県政モニターアンケート結果
外国人県民等と地域で交流や関わりを持ちたいと思う県民の割合(%)
R5(2023)年 68% (目標値:80%)
外国人県民等が地域社会に参画していると思う県民の割合(%)
R5(2023)年 25% (目標値:50%)

【課題】

- 〇多文化共生と地域づくりへの県民の関心を高める必要がある。
- 〇外国人県民が日本の社会や習慣を理解する機会を増やすとともに、すべての県民が当事者意識をもつことが必要である。
- 〇日常生活の中で、円滑なコミュニケーションができるよう、すべての県民がスキルを高めていく必要がある。

1 多文化共生に関する県民意識の高揚

2 コミュニケーション支援の強化

1 人材育成

多文化共生地域人材等育成事業
(375千円)

- ◆多文化共生に関する意識を高める講座
- ◆多文化共生に関するワーキング
- ◆災害時外国人支援のための人材養成講座

1 周知

多文化共生推進周知事業
(445千円)

- ◆多文化共生推進月間の設定、周知の実施
- ◆「滋賀県多文化共生推進プラン」概要周知、多言語版の作成および周知

2 地域日本語教室への支援

地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業
(12,637千円)

- ◆総合調整会議の開催
- ◆地域日本語教育推進計画の改定
- ◆総括コーディネーターの配置
- ◆地域日本語教育コーディネーターの配置
- ◆日本語教育人材の育成
- ◆日本語教育の普及啓発

2 「やさしい日本語」の推進

「やさしい日本語」の推進
(161千円)

- ◆「やさしい日本語」の広報
- ◆職員向け「やさしい日本語」講座の開催

滋賀の未来を担うひとづくり

魅力ある県立高校づくり

【予算額 2.3億円】



アグリイノベーション・ハイスクール事業

地域や大学等と連携し、農業の学びを活かして、農業と学校の魅力を広げる

シン・マイスター・ハイスクール

彦根工業高校を拠点に、地域活性化と産業人材の育成プログラムを構築

しがクリエイター12プロジェクト

～産業教育高校がわがまちを魅力化～
地域の良さを理解し、まちの魅力化に寄与

しがアントレプレナーシップハイスクール事業

キャリアプランニング能力の育成、インターシップ等に取り組み、アントレプレナーシップ（起業家精神）を育成



高校版DMO観光ビジネスプロジェクト

大津商業高校を拠点に、観光ビジネスを通して持続可能な観光地域づくりを推進



普通科改革推進事業

伊香高校「森の探究科」と守山北高校「みらい共創科」、令和7年4月新設です！

DXハイスクール推進事業

ICTを活用した文理横断的で探究的な学びを強化する学校の環境整備

県立高等学校魅力化推進事業

地域連携による魅力と活力ある高校づくり

⑨ 学びの最適化・高度化推進拠点形成事業

拠点校の授業改善を通じた「主体的・対話的で深い学び」のアップデート、「学びの祭典」で発信

高校魅力化チャレンジ事業

各学校が自由な発想で魅力づくりを推進

「北の近江振興」高校魅力化推進プロジェクト

地域に目を向けた探究的な学びを通じて北部振興について考え、発信

世界とつながる滋賀のリーダー育成

⑩ グローバルユース育成事業

海外との交流を通じて、世界的な課題に対して自ら学び、英語で発信する力のある人材を育成します

・トビタテ！留学JAPANしが拠点形成推進事業

県立高等学校入学者選抜のWeb出願システム、始まります！

出願受付や入学考査手数料の納付をシステム化し、利便性向上と業務効率化を図ります



教育委員会事務局
高校教育課(内4570)

滋賀の未来を担うひとづくり

県立高専の開校準備の推進

総合企画部
高等教育振興課(内4581)

4

質の高い教育を
みんなに

8

働きがいも
経済成長も

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

【予算額 13.7億円】

ハード整備の進捗や体制整備を踏まえて「県立高専」としての特色を具体化

県立高専の特色

- 施設
整備

教育課程上の特徴や県立高専設置目的等を踏まえた施設の整備
(PBL実施のためのスペース確保・交流拠点施設の整備・ダイバーシティへの配慮)
- 教育
課程

専門的技術を用いて価値創造ができる実践的人材育成のための『情報技術をベースとした学び』『実践トライ』『価値創造デザイン』の設定
- 連携
共創

県立高専に関与した企業・大学等の関係者も新たな学びが得られる『学びの場』の提供
(県立高専と企業等が共に育て合い、成長する関係性の構築)
- 周知
拡大

入学者確保の前提として、理工系への進学者増加のため、子どもたちの科学・技術への興味関心を醸成

令和7年度取組

- ハード

10.5億円

用地整備
造成工事、インフラ整備等

6.9億円

施設の詳細設計等

3.6億円
- ソフト

3.2億円

学校運営体制の構築
・準備教員によるカリキュラムの編成
・教員の採用
・PRイベント、出前授業などの広報活動の実施
・企業訪問、企業との意見交換等の実施
・設置認可申請の準備

1.2億円

開校準備関係事務の推進

2.0億円

目指す令和7年度末の状況

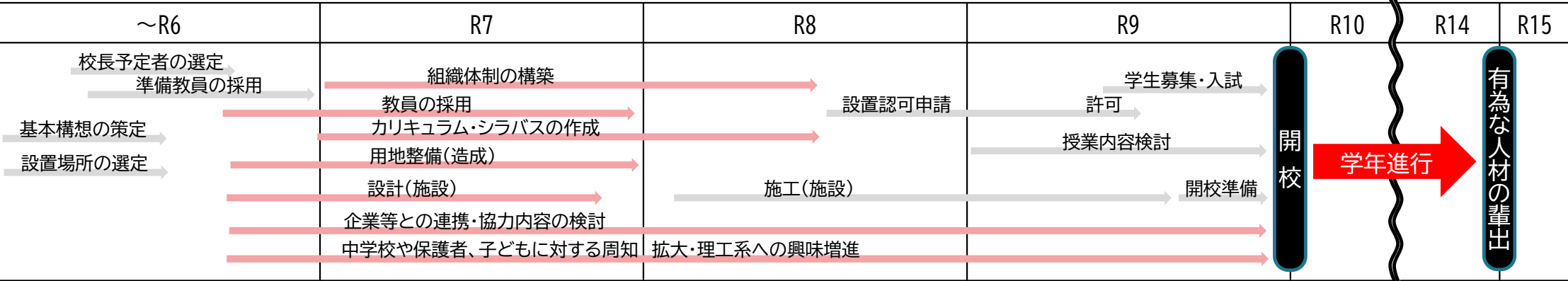
- 施設
整備

施設・キャンパスの詳細設計が完了し、施工に向けた準備を実施
- 教育
課程

具体的なカリキュラムが編成されている
- 連携
共創

既に連携・共創の具体的内容を確定する企業等が複数存在
- 周知
拡大

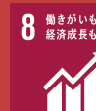
理工系への進学や県立高専に興味を持つ子どもや保護者が増加



滋賀の未来を担うひとづくり

大学・企業と未来をつくる

県内大学と連携した、地域課題の解決や地域活性化の実現



【予算額 86.5百万円】

大学連携研究プロジェクト事業 7,800千円 **新**

地域課題の解決や新たな産業の創出につながる実証に向けた研究を支援

➡地域課題の解決や地域活性化につながる大学の研究開発を支援



総合企画部
企画調整課(内3312)



先導GX産業支援プログラム事業 17,200千円 **新**

県内企業等の研究開発を支援しイノベーションを促進

シーズ発掘 → プッシュ型 水先案内 → チーム組成 ネットワーキング → プロジェクト 形成・伴走支援

研究・開発プロジェクトに向けたチーム組成のためにオープン/クローズで連携を支援

➡滋賀県におけるGX技術の研究開発の推進

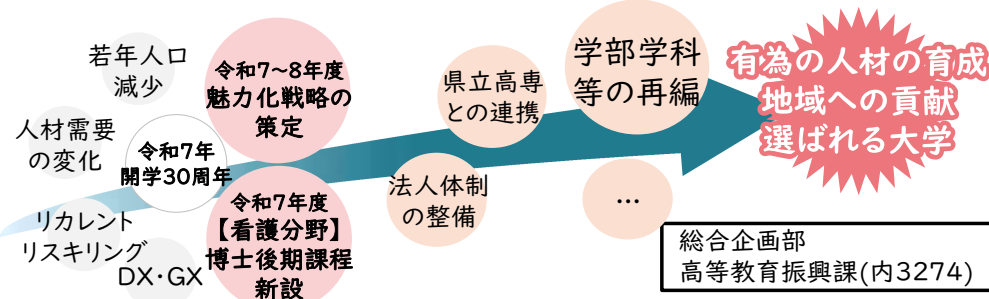
商工観光労働部
イノベーション推進課(内3794)



公立大学法人滋賀県立大学の魅力化事業 42,089千円 **新**

社会環境の変化を踏まえ、今後も選ばれる存在となることを目指す、「魅力化戦略」を策定

➡県立大学の魅力向上に向けた施策の構築・実施



SDGs学びとイノベーションのプラットフォーム事業 11,100千円

企業と子どもをつなぐプラットフォーム(こどなBASE)を運営



総合企画部
企画調整課(内3312)

大学による「子どもの知と創るを応援」事業 7,500千円

子どもたちの理系への興味関心を高める取組を支援

➡ともに滋賀の未来をつくる

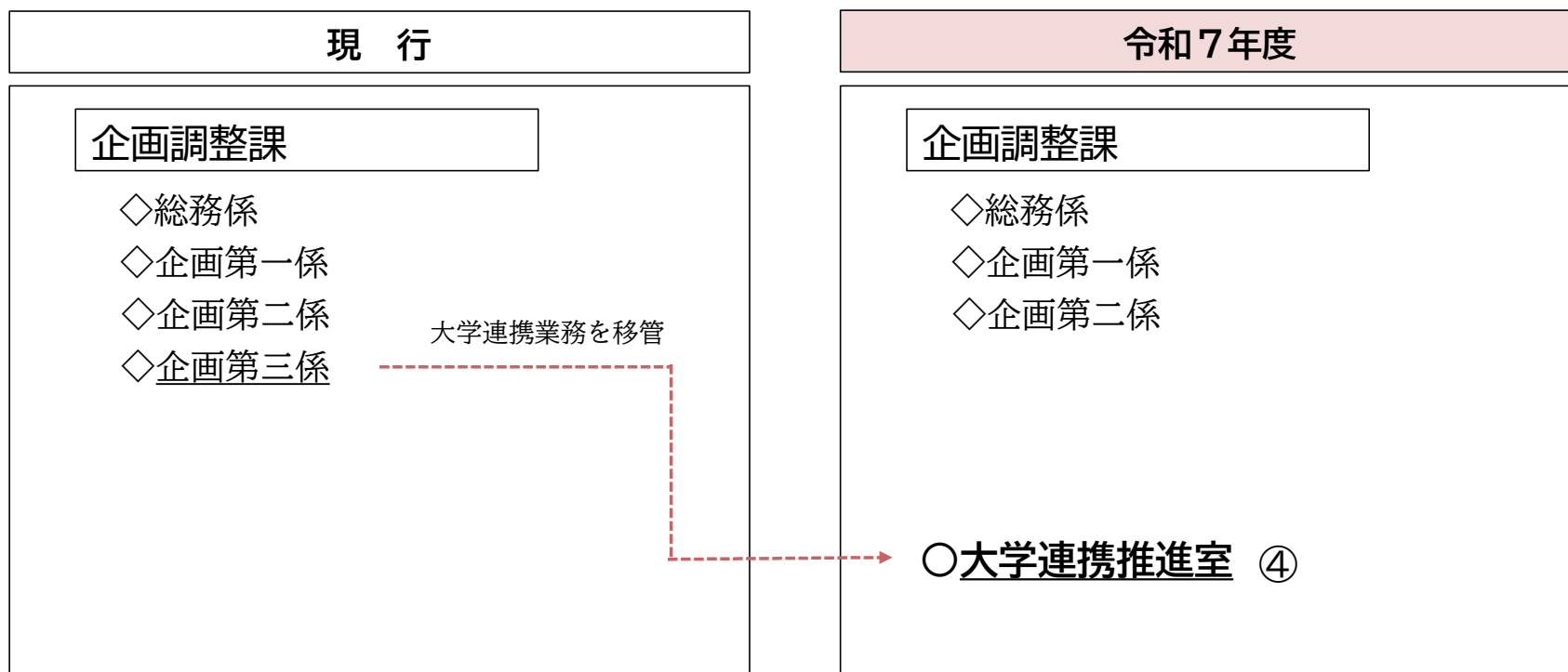
総合企画部
企画調整課(内3312)



総合企画部に「大学連携推進室」を設置

▶ 大学との連携・共創（総合企画部）

○県内の各大学との連携と共創により、大学の「知のリソース」を活用した新分野への挑戦や地域振興等に寄与するため、新たに「大学連携推進室」を設置します。



滋賀の医療福祉を担うひとづくり

医療福祉のひとづくり

3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



未来の滋賀を支える医療福祉専門職のひとづくりを推進する

【予算額 20.0億円】

医師

- ④ 医師地域枠学生への奨学金の貸与 (R6:60人→R7:76人)
- ④ 医学生修学資金の貸付年次の拡大
 - ・ 病院が実施する勤務環境改善に対する支援

薬剤師

- ④ 病院薬剤師確保のためのインターンシップ実施支援
- ④ 病院・薬局による合同就職説明会の開催支援

歯科衛生士

- ④ 新卒者説明会など県内就職支援の強化
 - ・ 潜在歯科衛生士の再就業支援

看護職

- ④ 看護地域枠学生への奨学金の貸与 (R6:30人→R7:60人)
- ④ 看護師等養成所の学生確保に向けた支援
- ④ 看護職養成のあり方検討
- ④ 潜在看護職の再就業支援の強化
- ④ 定年退職前後の看護職の活躍促進
- ④ 訪問看護師の資質向上に向けた支援



しがでナースる!

リハ職

- ④ 大学や職能団体と連携したリハビリテーション専門職の魅力発信
 - ・ 養成校在学学生への修学資金の貸与

介護・福祉職

- ・ 介護現場革新をリード・マネジメントする人材の育成
- ・ 外国人介護職員の介護福祉士試験対策研修・日本語力向上研修の実施
- ・ 介護業界と協働して進める「介護のしごと魅力発信」
- ④ 小規模事業者における人材育成や事務の協働化による経営改善の支援
- ④ 障害福祉の専門人材育成や働きやすい職場環境の整備に向けた支援



健康医療福祉部	
健康福祉政策課	(内3619)
医療政策課	(内3613)
健康しが推進課	(内3651)
医療福祉推進課	(内3598)
障害福祉課	(内3544)
薬務課	(内3636)

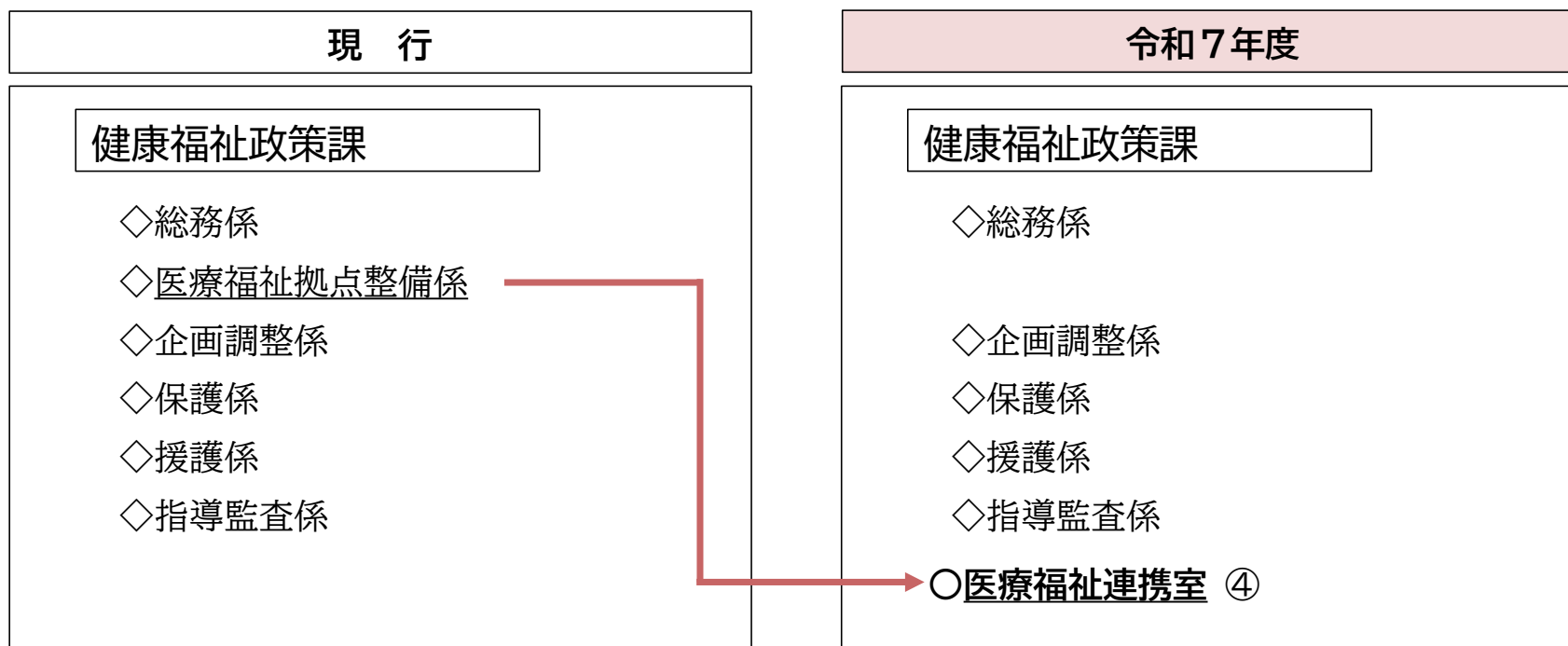
医療福祉のネットワーク強化により、職種を超えた横断的な取組を推進する

- ・ 医療福祉拠点(多職種連携などを推進する(仮)第二大津合同庁舎(R9.4供用予定))の整備

- ④ 医療福祉職全体の魅力発信

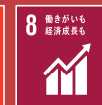
健康医療福祉部に「医療福祉連携室」を設置 ▶ 医療福祉のひとづくり (健康医療福祉部)

○医療福祉拠点の整備とあわせ、医療福祉人材の安定的な確保・育成や多職種連携による医療福祉サービスの提供体制の構築を図るため、新たに「医療福祉連携室」を設置します。



滋賀の経済活動を担うひとづくり

滋賀の産業を担うひとづくり



多様な人材が活躍できる、魅力ある雇用の場を作ることにより、「選ばれる滋賀」を目指す 【予算額 1.2億円】

奨学金返還支援など若年層等への支援

新 若年層等確保・定着支援事業

県内企業とともに奨学金返還支援や
スキルアップ支援に取り組み、若者の滋賀での活躍を支援

補助制度を創設！

奨学金返還支援

魅力

経済的負担軽減



両面からの
支援

スキルアップ支援
(DX・GX関連資格の取得)

魅力

自身の成長

● 若年層に向けた技能振興の取組

- ・若年技能者の技能研鑽意欲や
子どもたちのものづくりへの興味関心の向上
- ・技能五輪出場に向けた気運醸成の促進



新 地場産業後継者インターンシップ事業

「住む・働く」ことを中心とした
インターンシップ支援を実施



選
ば
れ
る
滋
賀

リスキリング・多様で柔軟な働き方

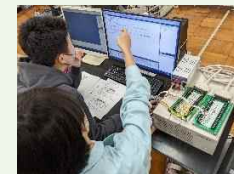
新 人的資本経営に向けた経営層のマインドチェンジ促進事業

人材戦略の変革やリスキリング等に向け、
経営層のマインドチェンジを促進



新 高等技術専門校の再編(デジタル人材育成)

全訓練科にデジタルリテラシー
に関するカリキュラムの導入



新 魅力ある職場づくり事業

「魅力ある職場づくり」に取り組む中小企業を支援



新 在宅ワーク促進事業

在宅ワークを希望する女性を支援



ダイバーシティ

新 外国人材活躍促進事業

県内企業と外国人材の双方に対して、
外国人材の活躍促進に向けた支援を展開し、
地域における外国人材雇用の好循環を創出



商工観光労働部
イノベーション推進課 (内3793)
労働雇用政策課 (内3751)
女性活躍推進課 (内3771)

滋賀の経済活動を担うひとづくり 農畜水産業の担い手の確保・育成



本県農業・水産業の持続的な発展に向けた、人材の確保・育成に向けた切れ目のない支援を行う。

【予算額 1.7億円】

農畜産業



○ 地域計画をベースにした農業構造の転換

- ・ 広域での担い手間の話し合いによる経営規模拡大や農地の集約化

○ 新規就農者の確保・育成

- ・ 農業高校や農業大学校等との連携強化による農業法人への就職就農の促進
- ・ 産地等と連携した就農相談から早期経営安定に向けた一貫した就農支援

○ 雇用型農業法人等の確保・育成

- ⑧ 生産方式の革新によるスマート農業技術の活用促進
 - ・ 専門家派遣等を通じた農業法人のマネジメント力の強化
- ⑨ 地域のリーダーとなり得る女性農業経営者の育成
 - ・ 企業参入の優良事例や課題の調査

就農から経営発展に向けた切れ目のない支援



農業高校と農業大学校の連携によるICTハウスの現地見学



早期の経営安定に向けた現地研修会



経営発展に係る個別相談会

漁業



○ 新規漁業就業者の確保

- ・ 漁業就業支援フェアなどを通じた就業相談の実施
- ・ 漁業技術等を習得する漁業研修の実施
- ・ 漁労資材取得など着業への支援

○ 漁業者の育成

- ⑩ 湖魚販売や湖魚食普及に意欲的に取り組む担い手団体等の活動を支援
- ⑪ 漁業団体の組織強化や機能充実(共済・購買・共販等各事業の促進)への支援

○ 新たな漁業収入確保対策の推進

- ⑫ 漁場生産力を活かした新技術の検証(ビワマス湖中養殖等)

就業者の確保・育成に向けた切れ目のない支援



新規就業希望者と漁業者のマッチング



新規就業者向け漁労・経営・資材購入支援



滋賀県漁連との協働による展示商談会への出展

農政水産部
みらいの農業振興課 (内3845) 水産課 (内3874)

滋賀の経済活動を担うひとづくり

林業の担い手の確保・育成



【予算額 7.5千万円】

琵琶湖環境部
びわ湖材流通推進課 (内3922)

【川上】

活力のある林業の推進

- ・ **滋賀もりづくりアカデミー**
新規林業就業者の育成
既就業者の生産性向上支援
市町職員の育成
森林施業プランナー・森林経営プランナーの育成
オーストリア林業との交流
- ・ **緑の雇用** (国予算)
就業初期の育成研修
- ・ **林業労働力確保支援センター**
就業相談や林業体験の実施
林業事業体への就業支援
求人情報の収集、提供



【川中】

加工・流通体制の整備

- ・ **森林評価測定士**
山土場での造材、仕分け・検知業務を担う森林評価測定士の育成
- ・ **県産材の加工流通人材**
県産材の製材加工や流通に関する人材の育成



【川下】

幅広い県産材の利用

- ・ **木造建築設計に精通した建築士等**
木造設計の知識と県産材の特性や流通状況を熟知した建築士等の育成
- ・ **木造化促進アドバイザー**
県産材の調達から木造設計について具体的な助言を行い、木材利用に理解のある発注者等を育成
- ・ **木育指導者**
木のおもちゃでの遊びや木工などを通して、木の魅力を伝える人材を育成
- ・ **新 伊香高校「森の探究科」**
「森で学ぶ」をコンセプトに、森林・林業に関心を持つ人材を育成



滋賀の経済活動を担うひとづくり

建設産業の担い手確保



地域の担い手として活躍する建設人材の確保を目指す

【予算額 17百万円】

土木交通部
技術管理課
(内4340)

建設産業の役割

【①インフラ整備】



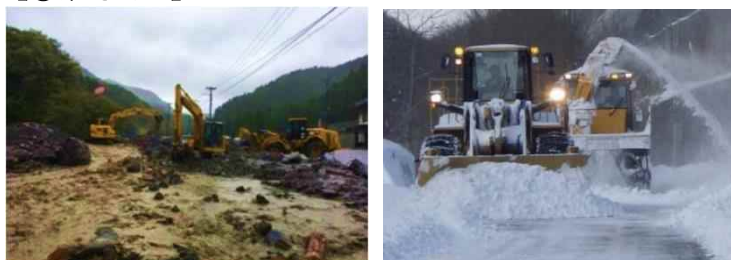
産業活性化のための渋滞対策
(バイパス整備事業)

【②防災対策】



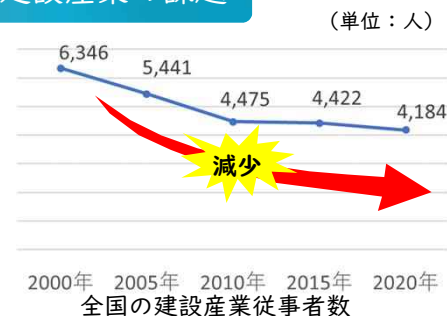
洪水対策のための流下能力向上
(河川改修事業)

【③緊急対応】



人命確保のための道路啓開
(災害復旧)

建設産業の課題



2000年 2005年 2010年 2015年 2020年
全国の建設産業従事者数
20年で約220万人(34%)減少
しており、担い手確保は喫緊の課題

事業内容

【地域を支える建設産業魅力アップ事業】

産学官が連携して実施する若者・女性を対象として担い手確保・育成に関する施策を支援

(7百万円)



滋賀けんせつみらいフェスタの様子

【地域の担い手になる子どもの学びの場づくり事業】

子どもたちに職業選択や自己実現の幅を広げてもらえるよう、建設産業のものづくりの現場や最新技術に触れる場を提供

(3百万円)



最新機器体験（遠隔操作重機）

新

【子どもが建設産業を楽しみながら学べる環境づくり事業】

子どもたちが将来地域の守り手になることを夢見て、健やかに育ってくれるよう、地域の安全安心の仕組みを学ぶ機会となる事業を実施

(4百万円)

滋賀県魅力アップ実行委員会
マスコットキャラクター
「ニャーデ」©寅猫空



建設産業の役割をアニメで紹介

新

【外国就労者の確保に向けた仕組みづくり事業】

新たな担い手として外国人材を確保するために、建設産業の採用活動を支援

(3百万円)



滋賀県の外国人人口

1級土木施工管理技士の資格を取得し、監理技術者として活躍中



外国人材活躍事例

- 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり
- こころとからだの健康づくり
- 地域公共交通の維持・活性化

安全・安心の社会基盤
と健康づくり

③

施策の柱

誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり

生きづらさのある人を支えるセーフティネットの充実



【予算額 1.1億円】

「自分らしさ」が大切にされ、誰もが活躍できる共生社会をつくる

認知症バリアフリーの地域づくり



④ 認知症の知識・理解の深化を目的とした啓発活動

しがの認知症オレンジプロジェクトの実施 他

・ 認知症の人や家族と企業等との意見交換の実施

⑤ 認知症の人や家族を支える企業・団体や個人の優良取組の横展開

・ 治療と仕事の両立支援に係る情報や仲間づくり・交流の機会に係る一元的な情報発信

再犯防止推進対策

⑤ 罪を犯した人の立ち直りを支える地域支援ネットワーク構築に向けた検討

④ 矯正施設退所後のフォローアップ対象者の拡充

④ 協力雇用主の業種拡大に向けた取組

④ 国と連携した保護司活動のPR強化による担い手確保の促進



つながりを大切にした孤独・孤立対策

・ 官民連携プラットフォームを中心とした対策の推進

④ しが孤独・孤立ポータルサイトやSNSを活用した情報発信

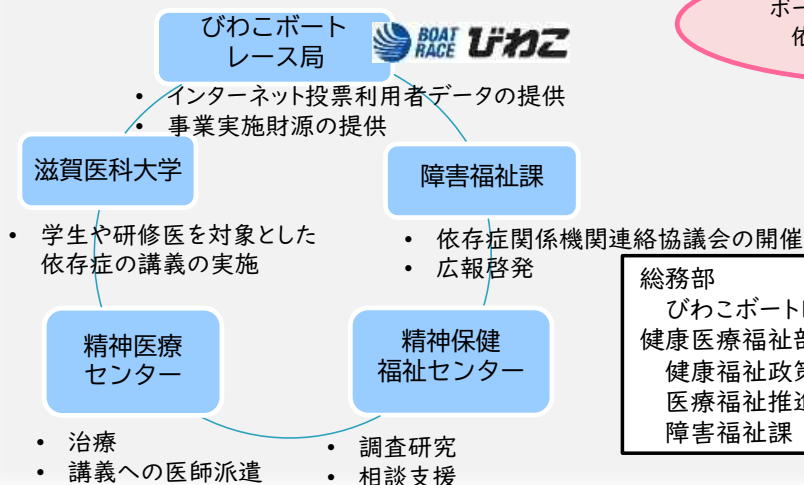
・ フォーラムの開催等による支援者のネットワークづくり



ギャンブル依存症対策

④ 大学と連携したインターネット投票利用者の調査研究に基づく依存症

予測モデルを活用した早期介入支援



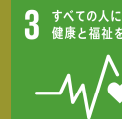
ボートレース事業とギャンブル依存症対策は車の両輪！



総務部
びわこボートレース局 (077-522-1122)
健康医療福祉部
健康福祉政策課 (内3519)
医療福祉推進課 (内3527)
障害福祉課 (内3548)

誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり

地域防災力の向上と健康危機管理体制の強化



【予算額 2.8億円】

あらゆる主体が平時から継続的に当事者力(自助)・地域力(共助)・行政力(公助)を強化する

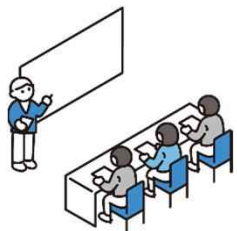
「生き延びる」ための事前防災

- ④ 感震ブレーカーの普及促進
・自助推進の担い手スキルアップ
- ④ 学校教育と連携した防災教育の充実



災害対応を支える情報基盤の確立

- ・滋賀県防災情報プラットフォームの構築
- ・防災行政無線の更新



受援力・災害対応力の強化

- ④ 各分野における災害対応力向上に向けた職員研修・訓練等の実施
- ④ 市町と連携した受援計画にもとづく訓練の実施
- ④ 道路網の寸断を想定した輸送訓練



ドローンによる物資輸送

大規模災害や新興感染症にも対応できる強い健康危機管理体制をつくる

- ④ 衛生科学センターの機能強化
- ④ 新興感染症発生に備えた個人防護具の計画的な備蓄と
対応力強化に向けた医療機関の施設・設備整備支援
- ④ 国際協力機構国際緊急援助隊事務局(JICA)と連携した国際緊急援助隊(JDR)医療チームへの登録の推進



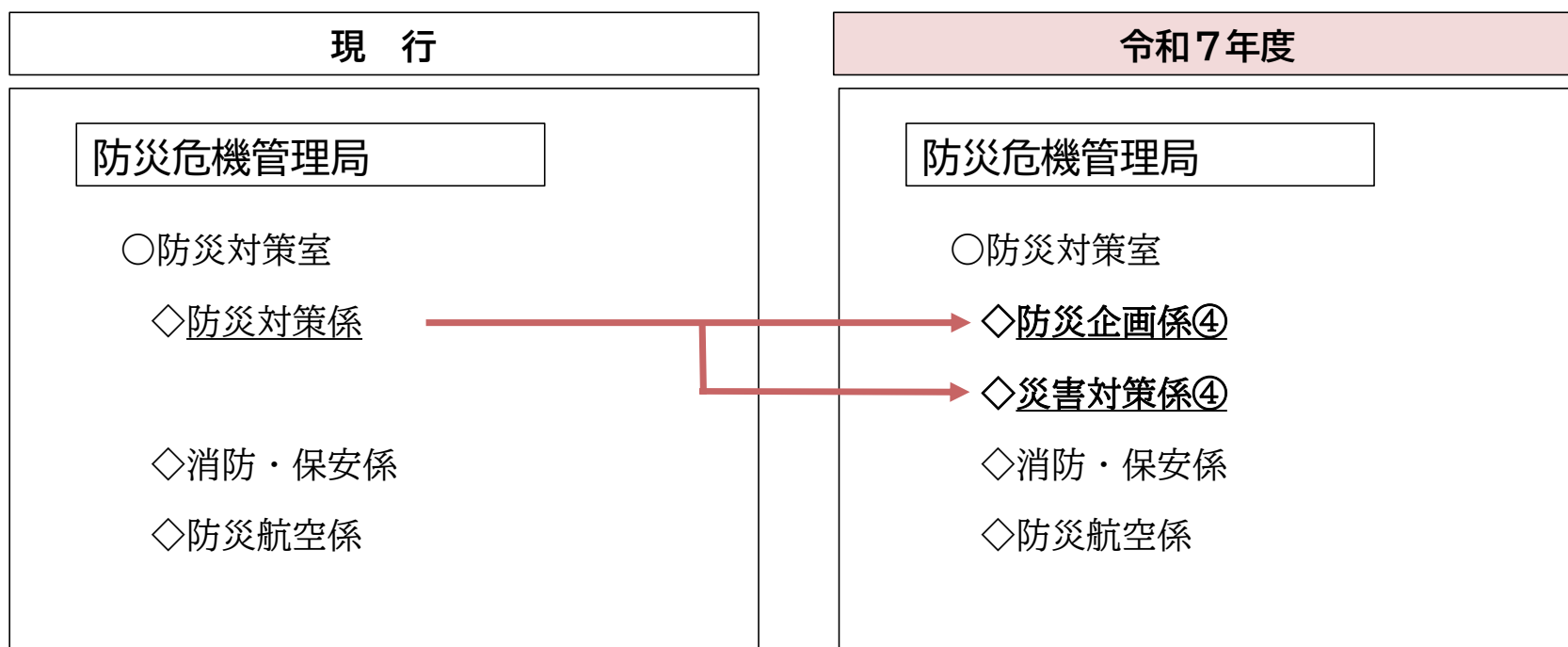
衛生科学センター完成イメージ
令和9年度中供用開始予定

知事公室防災危機管理局
危機管理室・防災対策室(内7400)
健康医療福祉部
健康危機管理課(内3690)

防災危機管理局 防災対策室に「防災企画係」「災害対策係」を設置

▶ 地域防災力の強化・向上（防災危機管理局）

- 自然災害が頻発化・激甚化する中、災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制を整備するため、生き延びるための『自助・共助』を推進する「防災企画係」と、県・市町が行う『公助』の力を高める「災害対策係」を設置し、体制を強化します。



誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり

強靱な社会インフラの整備・維持管理

【予算額 521.5億円】

道路整備・維持管理

道路ネットワーク整備



土木交通部
道路整備課(内4132)

適正な維持管理

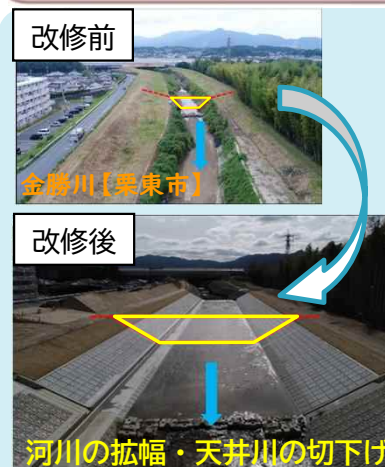


橋梁修繕

土木交通部
道路保全課(内4135)

水災害・土砂災害対策

河川改修事業の推進



適正な維持管理



土砂災害対策の推進



大津港の活性化

大津港の活性化とにぎわい創出を目指し策定した基本構想を具現化するため、概略設計や需要調査を行い、今後の実施方針を決定する。

びわこ花噴水



大津港旅客ターミナル



流域治水条例に基づく取組検証

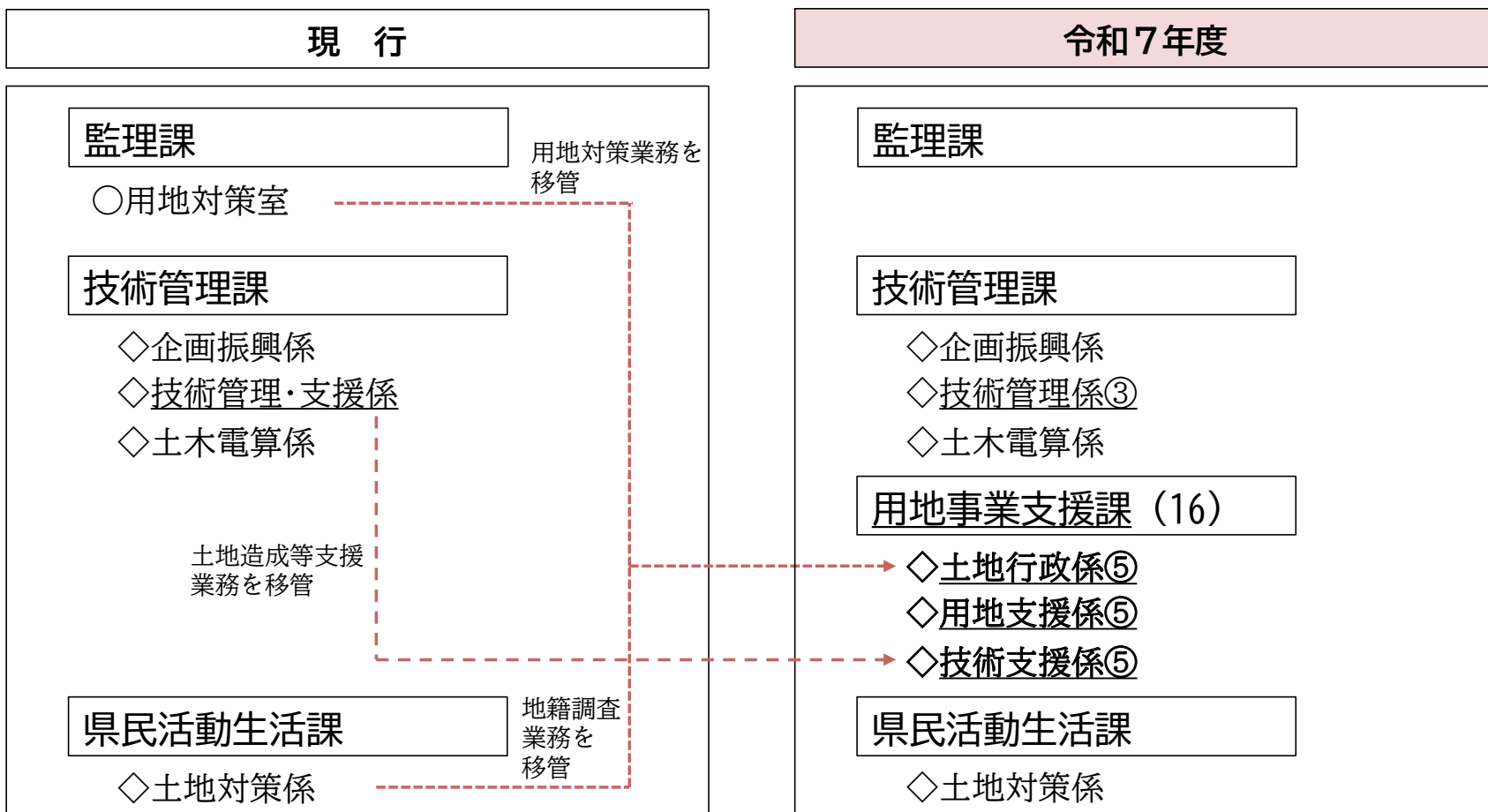
平成26年の条例制定から10年を経過し、これまでの取組を検証。審議会の答申を踏まえ今後の対応方針を検討。

土木交通部
流域政策局(内4274)

土木交通部に「用地事業支援課」を設置

▶ 強靱な社会インフラの整備（土木交通部）

○土地開発公社の解散に伴い、用地取得や造成等の専門的な業務について、土木交通部に集約化し、部局間で連携の上、効果的・効率的に業務を推進するため、新たに「用地事業支援課」を設置します。



誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり

新たな治安課題に対応した安全・安心な地域づくり

【予算額 3.5千万円】



犯罪や交通事故の少ない安全・安心に暮らせる滋賀の実現

SNSで犯罪防ぐ情報発信事業

- ・「闇バイト」等情報対策
- ・特殊詐欺被害防止対策
- ・SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止対策

警 主要なSNS媒体において注意喚起メッセージを自動配信するもの



防犯カメラ設置促進事業

新

- ・犯罪抑止と地域の防犯意識向上

県 市町が行う自主防犯団体等への街頭防犯カメラ設置補助事業を助成するもの



警 防犯カメラ貸付設置事業を行い、市町による街頭防犯カメラ設置補助事業を促進、PRするもの

安全・安心なサイバー空間構築推進事業

- ・民間事業者・関係機関等と連携したサイバーセキュリティ強化対策

警 事業者のサイバー攻撃対処能力の向上に向けたステップアップコンテンツを開発するもの



安全・安心アプリへの交通情報発信機能追加事業

新

- ・交通安全情報の効果的な発信及び広報啓発活動

警 県警公式アプリに、交通事故発生マップ等の交通安全情報を掲載する機能を追加するもの



社会情勢の変化に対応

県民に情報を広く届ける

県民のニーズに応える

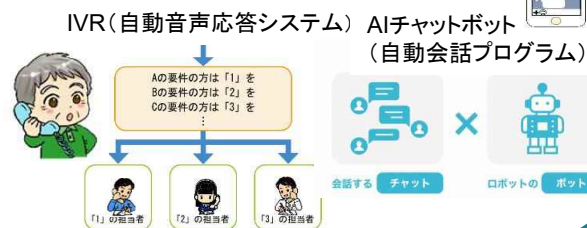
事業者の学びを支える

免許諸手続デジタル案内サービス事業

新

- ・運転免許手続の利便性向上

警 IVRやAIチャットボットを活用して、免許手続に関する問合せや相談に迅速に対応するもの



総合企画部 県民活動生活課(内3414)
滋賀県警察本部(077-522-1231)

ここからだの健康づくり

「健康長寿日本一」を目指した健康づくり

健康
しが
みんなでつくる！

3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



【予算額 1.5億円】

(「県立総合病院における高度かつ専門的な医療の実現」に関連する事業除く)

健康なひとづくり

健康データやAIの活用による健康意識の向上

- ① 健康診断や日常活動のデータをAI分析し、生活習慣改善のアドバイスを提案するシステムの構築
- ・ 県立総合病院における市町等との連携による健康データを用いた分析の実施



活力ある日常を支える予防的アプローチ

- ① 高齢者の骨折予防を目的とした骨粗しょう症リスク者への検診モデル事業と医療連携の基盤づくり

元気高齢者の活躍推進

- ① レイカディア大学のカリキュラム充実
- ② 就労支援機関等との連携による元気高齢者の新たな就労意欲の喚起



県立総合病院における高度かつ専門的な医療の実現

- ・ 県内初の動体追尾型の放射線照射装置の稼働など、患者の身体への負担が少ないがん医療を提供
- ・ 小児保健医療センターとの統合により、子どもから大人まで、とぎれることのない医療を提供

【健康寿命】令和4年1月公表
男性:81.07年(全国2位)
女性:84.61年(全国7位)

生涯を通じた
健康づくり

あらゆる分野と連携した
健康づくり

データを活用した
健康づくり

みんなで目指そう
健康長寿日本一!



健康なまちづくり

自然に健康になれる環境づくり

- ① 県民・団体・企業等による公園をフィールドとした健康づくりに係る活動創出の促進

健康しが × シンガパーク

国スポ・障スポを契機とした健康づくりの機運醸成

- ① 健康推進アプリ「BIWA-TEKU」のスタンプラリーを活用した健康づくりの促進



人と動物の豊かな関わりの推進

- ・ 市町、関係団体、動物愛護ボランティアと連携した適正飼養の啓発や譲渡の促進



健康医療福祉部 健康しが推進課(内3657) 医療福祉推進課(内3520)
生活衛生課(内3641) 医療保険課(内3576)
病院事業庁 経営管理課(077-582-5852)
総合病院経営強化推進室(077-582-5031)

こころとからだの健康づくり

元気高齢者の活躍推進

3 すべての人に
健康と福祉を



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



【予算額 3.6億円】

「健康しが」の実現に向けて「元気高齢者」の活躍を推進する

「学び」につながる施策

- ④ レイカディア大学のカリキュラムの充実【再掲】
- ④ 日常生活支援等の場における元気高齢者の活躍に向けた講座開催の支援
- 「びわ湖の日」連続講座
- 県立施設の一部（常設展等）高齢者料金 無料・割引

「つながり」を支援する施策

- シニアの活動相談や情報提供、マッチング等の支援
- 働くことを通じたつながりや生きがいづくり（シルバー人材センター）
- ④ 介護現場で活躍してもらうための研修会の開催



学ぶ



活動する・働く

つながる

「活動・就労」につながる施策

- レイカディア大学卒業生による主体的な地域づくり活動の促進支援
- シニアジョブステーション滋賀における就労支援
- ④ 就労支援機関等との連携による元気高齢者の新たな就労意欲の喚起【再掲】



シルバー人材センター



レイカディア大学



シニアジョブ
ステーション滋賀

- ④ 高齢者の運転免許証の自主返納者に交通系ポイントを付与する支援事業の実施
- 地域と学校の連携・協働体制の構築（地域における学習支援や体験活動など）

健康医療福祉部
文化スポーツ部

医療福祉推進課（内3520）
文化芸術振興課（内3341）
文化財保護課（内4670）

商工観光労働部 労働雇用政策課（内3758）
琵琶湖環境部 環境政策課（内3453）
土木交通部 道路保全課（内3682）

～文化の力で魅力あふれる北部地域へ

北部地域は伝統行事などの文化的資産が大切に継承されている一方、県立美術館やびわ湖ホールの**大型文化施設が県南部地域に立地**していることや、人口減少・高齢化などによる**文化芸術活動者・担い手の減少**が課題

市や文化団体等と連携しながら、北部地域の特性や魅力を生かした文化振興事業を展開



○地域文化の振興

- ・ 邦楽コンサートやワークショップなどの交流イベントを実施
- ・ 箏曲部の高校生と邦楽演奏団体による合同演奏会を実施



○美の魅力を発信とネットワーク化

- ・ 北部地域の美の資源を活用した交流やまちづくりに取り組む団体の活動支援
- ・ 北部の美の魅力を発信する団体間のネットワークを構築



○北部地域における文化・芸術イベント開催

- ・ 県立美術館の資源を活用したアート作品の展示、学芸員による講座の開催
- ・ 文化産業交流会館での滋賀県芸術文化祭の開催
- ・ 城郭やその周辺の文化財を巡る探訪会や水中遺跡の展示会等の実施
- ・ 県内美術館連携によるキッズミュージアムの開催

北部の文化的魅力の向上

- 北部ならではの多様な美に触れる機会の創出
- 文化芸術の担い手となる人材の創出

訪れたい北部地域へ

- 国スポ・万博を契機とした北部の訪問人口の増加
- 有望な文化芸術活動者の拠点化

文化スポーツ部
文化芸術振興課（内3341）

こころとからだの健康づくり キッズミュージアムの展開

【予算額 0.4千万円】



滋賀キッズミュージアムネットワーク事業

県内美術館等が提供する、子ども向け体験プログラム（**キッズミュージアム**）を**ネットワーク**化し、文化芸術が体験できる機会を県内各地で実施

○県内美術館等が子ども向け体験プログラムを実施

○文化芸術が心身の健康に与える影響への注目

○大阪・関西万博の開催

滋賀キッズミュージアムネットワーク



①大阪・関西万博
ワークショップ・出張
県内美術館等が
各館の特色を生かし
日替わりで特別展

②こほく
キッズミュージアム
文化芸術に触れる
1 dayイベント
学生ボランティアの
参加

③ネットワークの
情報発信
各館プログラムを
県ホームページ等で
まとめて発信

自分らしく
生きる力を育む

文化芸術に親しむ
環境づくり

文化芸術の
担い手育成



ここからだの健康づくり

文化財の保存活用による地域振興と将来を見据えた展開

【予算額 22.3億円】



文化財を取り巻く絶好のチャンスを活かすとともに、今後も文化財を次世代に引き継ぐための将来を見据えた取組

成果を実らせる！

彦根城世界遺産登録の国内推薦

- ・国内推薦の獲得、ユネスコへの推薦書の提出
- ・万博や国スポ・障スポなどでの機運醸成

▶ R9年度の世界遺産登録へ



安土城築城450年

- ・令和の調査整備事業の着実な実施
- ・見える化アプリの運用開始
- ・バチカン市国との交流イベント
- ・出張！お城EXPOの開催（安土で開催）

▶ R7～8年度に築城450年を契機とした魅力発信



新・琵琶湖文化館の開館

- ・着実な整備の推進と開館に向けた機運醸成

▶ R9年度の開館へ



将来に向けて！

埋蔵文化財・水中遺跡について

- ・公開・活用等の課題を抱える埋蔵文化財センターについての今後の基本的な方針の決定
- ・水中遺跡の基本構想の策定と基礎情報の調査



葛籠尾崎湖底遺跡
引き上げ土器

▶ 埋蔵文化財に係る保存活用の方向性を決定

文化財による地域振興や支える人づくり

- ・北部地域の城郭の魅力発信
- ・水中遺跡の魅力を発信する講演会や展示
- ・文化財を支える人の魅力の発信
- ・文化財を活用した子ども向けのイベント



▶ 文化財の魅力の発信による
地域振興や文化財を支える裾野の拡大



文化スポーツ部
文化財保護課（内4670）

こころとからだの健康づくり

誰もがスポーツを身近に楽しめる滋賀へ

【予算額 1.7億円】



滋賀のゴールデンスポーツイヤーズ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
2025



国内最大級の
スポーツの祭典!

インターハイ2026



高校スポーツ
最大の大会!

ワールドマスターズゲームズ
2027関西



世界最大級の
スポーツの祭典!

スポーツで
滋賀を元気に!

「する」

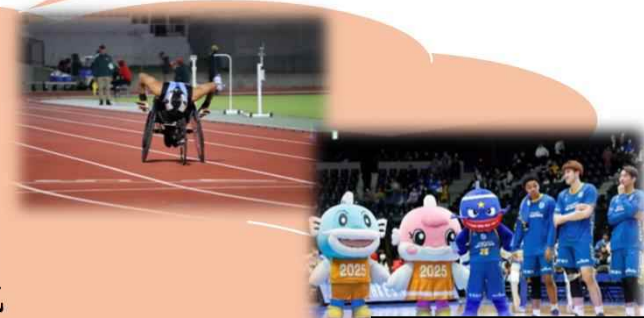
スポーツの力を最大化へ

「みる」

「支える」

令和7年度の主な取組

- ①レガシーを生かした地域活性化
 - ・シンボルスポーツの創出・定着
 - ・部活動の地域連携に向けた環境整備
 - ・スポーツの次世代育成
- ②障害者スポーツの普及啓発と振興
 - ・全国障害者スポーツ大会に出場する選手の育成・強化
- ③プロスポーツを活用したスポーツ推進
 - ・ホームアンドアウェーツーリズムによる地域活性化(地域間交流人口増加)



文化スポーツ部
スポーツ課 (内3361)

こころとからだの健康づくり

暮らしと心を豊かにする公園“THEシガパーク”

【予算額10.4億円】



すべての人の憩い・交流・体験の場となり、子どもたちが美しい自然の中で遊び、学ぶことができる場となる、「水と緑と人でつながる“THEシガパーク”」を目指す。

3つの視点(美・優・楽)

- 1.【美】「うつくシガパーク」
- 2.【優】「やさシガパーク」
- 3.【楽】「たのシガパーク」

魅力向上のための3つの取組 (Three Up)

- 【Team Up!】
部局を横断した公園連携・庁内連携
- 【Level Up!】
公園の機能強化と利便性の向上
- 【Tie Up!】
市町・民間事業者・住民等との協働

①自然公園新旭浜園地他 各地

自然環境保全課(内3481)



【Level Up!】 【Tie Up!】

再整備に向けた設計

⑤びわ湖こどもの国

各種イベントによる
魅力向上

【Tie Up!】



子ども若者政策・私学振興課(内3550)

湖岸緑地 各地

魅力向上のための
トイレなどのインフラ整備

【Level Up!】

駐車場の適正利用促進



都市計画課(内4281)

④矢橋帰帆島公園

下水道課(内4210)



【Level Up!】

老朽化した遊具の更新

THEシガパークプロモーション
および
THEシガパークビジョンの策定

【Team Up!】
【Tie Up!】

都市計画課(内4281)

⑦近江風土記の丘

博物館の展示充実と
安土城築城450年祭
連携事業の実施

【Tie Up!】



文化財保護課(内4670)

②希望が丘文化公園

「活性化方針」に基づく
着実な魅力の向上

【Level Up!】



文化芸術振興課(内3341)

⑥陶芸の森

魅力向上のための
照明やベンチの整備

【Level Up!】 【Tie Up!】

イノベーション推進課(内3793)



③近江富士花緑公園

森林政策課(内3919)



【Level Up!】 【Tie Up!】

企業との協働による施設改修および
木育拠点施設「しがモック」のオープン(R8夏)

新

土木交通部 都市計画課
公園魅力向上推進室
(内4281)

THEシガパーク

地域公共交通の維持・活性化

土木交通部
交通戦略課(内3681)



【予算額 6.3億円】

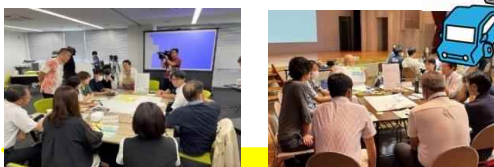
滋賀の公共交通未来 アイデア会議

- ➡滋賀地域交通ビジョン (R6.3) の実現
- 「望ましい暮らし」と「その実現に必要な移動のあり方」について、県民や交通事業者、市町と公論熟議
 - 施策とともに財源をセットで検討し、交通税があればどのような暮らしになるのかなど、「負担分担のあり方」についても議論
- ☞ 税制審議会とも連携

【シナリオA】
地域交通が充実した暮らし

【シナリオB】
車と地域交通の両方を利用する暮らし

【シナリオC】
移動を市場原理にゆだねる暮らし



県民等との対話を深化し、令和7年度に
「滋賀地域交通計画」策定

県民のアイデアを施策にも反映

1 地域交通軸の維持

- 近江鉄道線の安全運行と活性化
- 信楽高原鐵道線の安定的な運行
- J R各路線の維持・活性化
- 地域間幹線系統バスの維持

2 地域交通網の充実

- 地方バス等の維持
 - 新モビリティ導入に向けた試行・実証
- +
- 他分野・施策との連携検討

3 利便性向上・利用促進

- 近江鉄道線の利便性向上
- タクシーの生産性・利便性向上
- 交通まちづくりの推進
- 鉄道・バスの利用促進

- ✓ (一社)近江鉄道線管理機構への支援
- ✓ 信楽高原鐵道線の運行支援
- ✓ J R・国への提案・要望
- ✓ 地域間幹線系統バスの運行支援



- ✓ 市町が運行するコミュニティバス、デマンドタクシーの運行支援
- ✓ 国スポ・障スポの機会を捉えたライドシェアの試行 (交通NW構築事業)
- ✓ 自動運転バスの実証運行 (国予算の活用)



- 新 タクシーへの配車アプリの導入支援
- 新 U Dタクシー車両の導入支援
- 新 まちづくりに活かす公共交通の研究 (び文公園都市等)
- ✓ J R各路線の特性に応じた利用促進



高校生と共に考える公共交通利用促進

- 高校生へのアンケート
- 通学等における利用実態の把握
- 課題抽出とアイデア出し

どうなったら公共交通を利用したいと思いますか？

- 産業の創出と中小企業の活性化推進
- 食料安全保障につながる本県農業・水産業の推進
- 「琵琶湖システム」を活用した本県農業・水産業のファン拡大
- 地域資源を生かしたかかわりづくりと世界とのつながり
- DX・EBPMの推進

持続可能な社会・経済
づくり

4

施策の柱

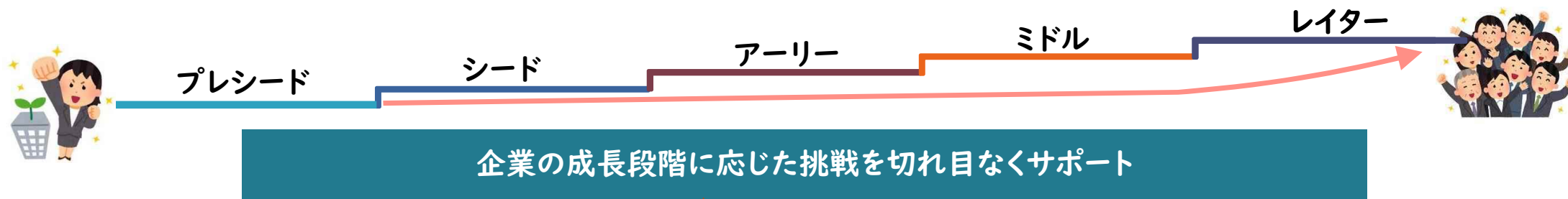
産業の創出と中小企業の活性化推進

スタートアップ、企業の成長段階に応じた切れ目のない支援の充実



切れ目のないサポートにより新たな産業の創出と持続的な成長の実現を目指す

【予算額 2.0億円】



起業・創業の挑戦をサポート

③ 起業チャレンジ! ローカルベンチャー創出支援事業

- ✓ 地域ニーズの解決と事業成長の両立に挑戦する起業発掘と資金支援
- ✓ 先輩女性起業家による講演

③ 起業・創業ナビゲート事業

- ✓ 経験豊富なエリアIMの指導助言による経営支援



● しがテック・スタートアップ創出事業

- ✓ テック系シーズの発掘育成

新技術への挑戦をサポート

③ プロジェクトチャレンジ支援事業

- ✓ 成長分野・近未来技術・CO2削減技術に関する研究開発・実証化試験の資金助成
- ✓ スタートアップ段階の取組の支援を拡充
- ✓ 大学等との連携による取組を重点支援



競争力強化への挑戦をサポート

③ 中小企業×スタートアップによるオープンイノベーション創出事業

- ✓ 県内中小企業の新たな連携先にスタートアップ(SU)
- ✓ 確かな技術(中小企業)と新たな発想(SU)の融合による中小企業の付加価値向上と競争力強化を実現



● オープンイノベーション推進事業

- ✓ フォーラム形成による企業の出会いの場を創出

商工観光労働部
イノベーション推進課 (内3796)

産業の創出と中小企業の活性化推進

成長産業分野への県内企業の新規参入の促進とイノベーション創出



半導体などの将来の本県産業をけん引する分野への中小企業の新規参入を促進

【予算額3.5億円】

しがテックイノベーション創出事業

商工観光労働部
イノベーション推進課（内3796）

大学等と連携し、以下の3つの取組の好循環により、イノベーションの創出と本県経済の活性化を図る。

- ①大学等との連携による技術人材育成プログラムによる企業の新分野進出の橋渡し「リスクリングブリッジ創出事業」
- ②中小企業の技術開発の挑戦をサポートするため、工業技術センターをイノベーションの拠点とする「イノベーションベース整備」
- ③企業の技術課題を発掘し、支援機関等への橋渡しにより課題を解決、技術開発を後押しする「イノベーションブリッジ創出事業」

★新分野進出への情報提供

○リスクリングブリッジ創出事業

目的に応じた講座プログラムによる知識の習得による新分野への橋渡し



半導体、AI、宇宙、サステナビリティ等の次世代産業への進出

中小企業

○イノベーションブリッジ創出事業
企業と支援機関等の橋渡し

★技術開発に必要な環境

(研究開発+人材育成)を整備

○イノベーションベース整備

- ・関連装置の設置による企業等の開発環境拠点の整備
- ・研究開発、評価分析に携わる高度人材育成



半導体分野

宇宙分野

3Dものづくり

サステナブル

産業の創出と中小企業の活性化推進

経営基盤の強化、海外展開等の推進



海外展開の推進、産学官・企業間連携の促進等により中小企業の「稼ぐ力」の強化を目指す【予算額 20.0億円】

物価高騰に負けない賃上げ・人材確保、県内投資の促進

- 生産性向上、新事業展開、人材育成等の未来を見据えた投資の支援
- 賃上げ・人材確保に向けた環境整備を支援
- 商工団体等の価格転嫁等の取組支援 等

海外展開等の更なる推進

新 ベトナムビジネス・トータルサポート事業

事業者の海外展開フェーズに合わせ、ベトナム進出の相談対応、現地情報の提供、ビジネスマッチング等を行う。

拡 水・環境ビジネス推進事業

「水」を含めた「環境」全般に分野を広げ、海外でのビジネス案件創出を推進する。



右図：ベトナムでの商談会

海外
展開

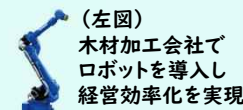
産学官・企業間連携の促進

新 中小企業経営革新等応援事業

企業間連携による取組をはじめ、中小企業の新たな事業活動を促進するため、経営革新計画等に係る商品化・販路開拓等を支援する。

産学官・
企業間
連携

企業間連携 促進
新商品等の市場化
販路開拓
経営改善・効率化



(左図)
木材加工会社で
ロボットを導入し
経営効率化を実現

● オープンイノベーション推進事業【再掲】

様々な技術シーズを有するものづくり
企業の出会いの場を形成、オープンイノベーションを創出

「稼ぐ力」強化

産業
創出

人材
育成

人材育成・リスクリング推進

● 企業人材のDXスキル強化支援事業

専門家指導や実践の場の提供等に係る経費を支援する。

● 技術者のリスクリング支援事業

工業技術センターによる講習会等の動画を発信し、技術者を支援する。

成長産業の創出

新 先導GX産業支援プログラム事業

有望なGX技術シーズ群に対し、プロジェクト組成に向けた伴走支援等を行う。



(出典) NEDO

部局連携で中小企業活性化に取り組む(基金活用)

健康医療福祉部・農政水産部・土木交通部・教育委員会事務局・警察本部

① 新たな挑戦、地域社会の
課題解決の取組促進

② 人材(ひとづくり)に
関する取組促進

③ 経営基盤の強化

④ 産業分野の特性に応じた
取組促進(地場産業、観光、書店振興等)

商工観光労働部	
商工政策課	(内 3715)
中小企業支援課	(内 3731)
イノベーション推進課	(内 3796)
労働雇用政策課	(内 3751)

産業の創出と中小企業の活性化推進 産業立地の推進



滋賀県の大事にする価値に共感いただける産業立地を推進し、「世界から選ばれる滋賀」の実現を目指す

滋賀県の大事にする価値（CO₂ネットゼロ、生物多様性、こども政策等）に共感いただける産業立地を推進

企業との関係構築強化、ワンストップサービスによる相談対応

産業用地の確保

助成金・税制優遇

企業ニーズを踏まえた人材確保・育成

インフラの充実

● 産業用地開発事業

【予算額 2.6億円】

「県と市町の連携による産業用地開発事業」として、令和6年度に選定した県内3か所の開発に着手（高島市、大津市、東近江市）

○基本計画策定業務

選定した候補地3か所について、各種の条件整理や関係機関との協議を行い、道路計画、造成計画、上下水道等供給施設計画、防災施設（調整池等）計画、公園緑地計画などの土地利用計画の策定、概算事業費の算出やスケジュール策定を行う「基本計画」を策定。

○測量・調査

選定した候補地3か所の測量を実施。今後の整備の基礎資料となる平面図を作成。

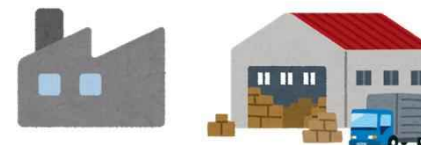


事業スケジュール（最短イメージ）	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
市町公募							
適地調査							
候補地審査・実施箇所決定							
基本計画策定							
測量・各種調査（文化財を含む）							
各種開発協議							
環境アセスメント							
基本設計・詳細設計							
用地買収							
造成							
分譲							

注：事業スケジュールは、各候補地の事情に応じて精査。

分譲
販売予約

新たな産業用地を整備！



商工観光労働部
産業立地課（内3781）

産業の創出と中小企業の活性化推進

地場産業の活性化



新たな挑戦への支援により地場産業・産地の活性化を目指す

【予算額 4.0千万円】

新商品開発や販路開拓、後継者の育成・確保を支援することで、
地場産業の自律的な取組を促し、産地の活性化を図る。

事業者への支援

【再掲】 ⑧ 地場産業後継者インターンシップ事業

体験の機会を創出し、「住む・働く」ことを中心とした実践的なインターンシップ支援を行う。



右図：インターンシップのイメージ

● 新商品開発や販路開拓への支援

① 新たな流通ルート確立支援事業

② 近江のデザイナーマッチング事業

③ サステナビリティ対応支援事業

- ✓ 既存商品の販路開拓を支援
- ✓ デザイナーと取り組む商品開発、販路開拓を伴走支援
- ✓ 環境に配慮した商品開発等に係る費用を支援

地場産業組合の取組支援

⑨ 近江の地域産業振興総合支援事業 (地場産業組合等戦略的取組支援補助金)

地場産業組合(産地)の取組を支援する。

- ① 新商品開発
- ② 販路開拓
- ③ 後継者育成
- ④ 魅力発信

- ✓ 地域の団体・住民と取り組む地場産業を活かした魅力発信による産地の活性化(まちづくり)



海外での展示会の様子



ここ滋賀でのワークショップ

実態把握・エ技センターによる支援

⑩ 近江の地域産業振興総合支援事業 (地場産業等実態調査事業)

近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する基本的指針(R4~R8)の改定に向け、コロナ後の地場産業等の実態を把握する。

⑪ 繊維技術のイノベーション創出事業

県内繊維地場産業3産地に特化した技術発信コンテンツの作成やこれらのコンテンツ発信と実感ができる展示ブースの試験運用と改善を重ねる。

● 信楽焼産地へのコトづくり支援事業

信楽窯業技術試験場・陶芸の森・甲賀市の3者の連携により、事業者と多様な主体が連携交流する場を提供し、製品開発や情報発信等を支援する。

商工観光労働部
イノベーション推進課 (内 3793)

食料安全保障につながる本県農業・水産業の推進

水稻新品種「きらみずき」、イチゴ新品種「みおしずく」の普及推進



農産物の特性を最大限に引き出した生産と、特徴を生かした流通・販売、消費の好循環を生み出す

【予算額 3.7千万円】



きらみずき

滋賀県産近江米
こだわる人が選ぶ「おいしさ」と「やさしさ」

～オーガニック栽培の拡大～

生産

- オーガニック生産者の拡大と供給体制の整備
 - ・生産者組織(オーガニック生産者グループ、JA部会)の拡大
- ④ 生産技術の拠点となる実証ほ場の設置
- ④ オーガニック栽培技術や生産拡大に向けた研修会の開催
- ④ オーガニック栽培の省力化に必要となるドローンやアイガモロボットなど水田除草機の整備
- ④ オーガニック生産者グループの集出荷体制等の検討



きらみずき栽培
実証ほ

流通・販売・消費

- 生産者と首都圏小売業者とのつながりの強化
- ④ 小売業者等を招聘し、価値やストーリーを共有するとともに、生産者と小売業者との交流・商談の場の創設
- ・ここ滋賀と連携し、首都圏ハイエンド層への「きらみずき」の価値のPR



首都圏における
展示商談会の実施



みおしずく

ひとしずくから輝く宝石へ

～県一産地の拡大～

生産

- 生産拡大と共同出荷体制の充実
- ④ DX(スマート農業技術)を活用したハウス環境の最適化による収量・品質の向上
- ④ JAによる生産物まるごと商品化による生産の拡大
 - ・生産拡大に伴う種苗の安定供給体制の整備



DXを活用した
栽培技術の研修会

流通・販売・消費

- 新たな販路へのチャレンジ
- ④ 企業と連携したみおしずく加工品の充実
 - ・首都圏等でのPRの実施
 - ・輸出に向けた検討



東京豊洲市場で
のPR

生産者と消費者をつなぎ、生産者の活力につながるオリジナル品種のブランド化を推進

農政水産部
みらいの農業振興課
(内3832、3892)

食料安全保障につながる本県農業・水産業の推進

「近江の茶」グローバル産地づくりの推進

競争力のある「近江の茶」の新商品開発を行うとともに輸出向け産地の育成を図る。

【予算額 5.8百万円】

新たな販路開拓

【滋賀県農畜水産物等輸出促進協議会】

輸出向け「オーガニック 近江の茶」の産地形成と併せて、最も適したターゲット国やプロモーションの手法等を定めた輸出戦略を策定する。

ターゲット国の調査・選定
輸出戦略の策定

情報共有

事業者発掘・支援

ビジネスチャンスの創出

魅力発信

(一社) 滋賀県茶業会議所

生産・加工体制の検討
輸出事業計画策定



新技術開発

【農業技術振興センター 茶業指導所】

有機物等の施用による炭素貯留を可能とする輸出向けのオーガニック茶の栽培技術体系の開発に取り組む。

新たなオーガニック茶の
技術確立

温室効果ガス低減に資する
低投入オーガニック茶技術

健康志向に対応した
カフェインレス茶製造技術

省力・低投入型栽培
体系の技術開発

適した品種等の検索
および加工技術の開発

温室効果ガス
排出量の低減

★★★
温室効果ガス
削減

低カフェイン
オーガニック茶

「近江の茶」の
環境ブランド化

「近江の茶」の
健康ブランド化

「近江の茶」グローバル産地

【産地A】

・高級茶
・オーガニック茶

【産地B】

・規模拡大
・オーガニック茶
・抹茶生産

新技術による
オーガニック産地
ブランドの創造

オーガニック「近江の茶」の
新たな価値（健康・環境）の提案

世界に評価される
産地ブランドの創造



農政水産部
みらいの農業振興課（内3834）

食料安全保障につながる本県農業・水産業の推進

みらいへつなぐ近江牛振興



将来にわたり選ばれる近江牛づくりの推進

【予算額 4.9億円】

R6までの取組

“三方よしの近江牛生産”について、キャッチコピーと活動推進マーク（ロゴマーク）を作成し、取組を発信

《キャッチコピー》

伝統の味、新しい誓い

《ロゴマーク》



牛よし人よし社会よし

滋賀県は「三方よしの近江牛生産」の取組を推進しています

R7以降の取組

将来にわたり選ばれる近江牛づくりを目指す姿とし、“三方よしの近江牛生産”の取組を深化させることで近江牛ブランドの強化を図るとともに、首都圏・海外における近江牛ファンのすそ野を広げ、みらいへつなぐ近江牛振興を図る

“三方よしの近江牛生産”の取組を深化



牛よし

～家畜の快適性、人づくり～



- ・牛の快適性向上に対する支援（暑熱対策等）
- ・近江牛の担い手の育成（農業高校の学び支援）

人よし

～高品質、安心・安全～



- ・消費者ニーズに対応した近江牛への改良
- ・地理的表示保護制度（GI）の運用支援

社会よし

～環境への配慮～



- ・地域内一貫生産体制の推進（和子牛の県内確保）
- ・耕畜連携による県産飼料の生産・利用拡大支援

“近江牛ファンのすそ野拡大に向けた情報発信”

首都圏・海外における近江牛ファンの拡大

将来にわたり選ばれる近江牛づくり

- 次世代の担い手が安心して継承できる持続可能な生産環境の確立
- 時代に合わせたブラッシュアップによる「近江牛」ブランドの向上
- 新たな近江牛ファンの拡大と消費拡大



消費者の満足度を最大化

<満足度・おすすめ度 ランキングNo.1>

「近江牛」ブランド振興基本方針 目標値(R8)

農政水産部
畜産課（内3852）
みらいの農業振興課（内3892）

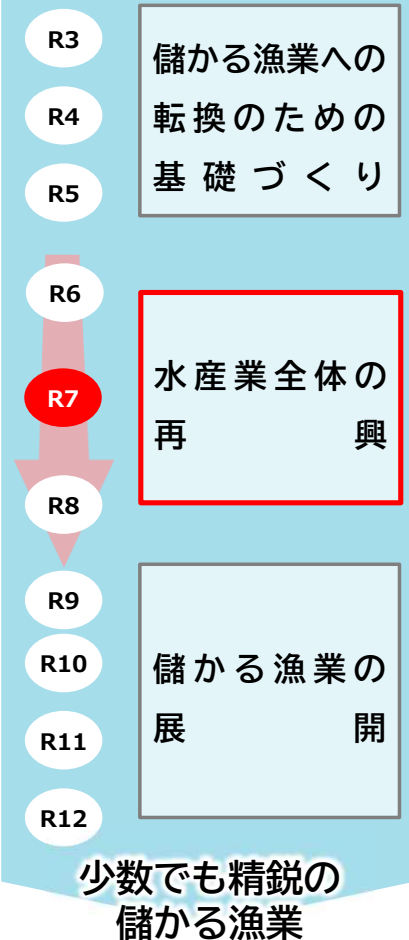
食料安全保障につながる本県農業・水産業の推進

儲かる琵琶湖漁業の実現

生産性の向上と湖魚の需要拡大で夢のある産業へ

【予算額 4.0億円】

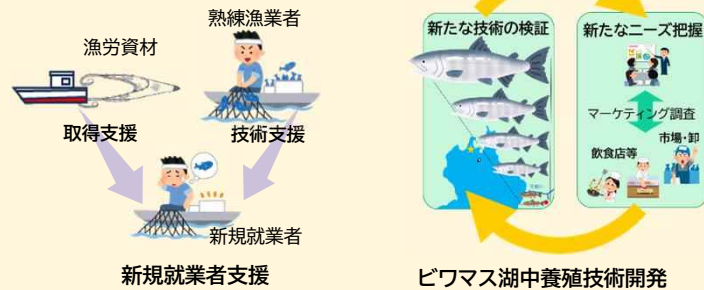
滋賀の水産業強靱化プラン



担い手 職業「漁師」の魅力向上

- 漁業研修制度の充実や新規就業者の独り立ちへの支援
- 担い手同士の連携を支援

① 新 漁場生産力を活かした湖中養殖の検証
(新たな漁業収入確保対策の推進)



経済 湖魚の価値を高め、多様な流通体制を構築

- ① 新 新漁協を活かした漁業団体による県域での集出荷体制の強化・拡充
- セールス活動による市場ニーズの把握・掘り起こしと施策へのフィードバック、琵琶湖八珍等のブランド力強化

① 漁獲物規格・品質基準の統一化

② 新 漁場生産力を活かした湖中養殖の検証 (再掲)



組織・社会 漁業組織・漁村の機能を強化

- 漁業団体の組織強化と機能充実
- 共済制度の活用促進

① 新 地域の特徴、琵琶湖の恵みを活かした湖業の展開



漁場環境・資源管理 漁場生産力向上と資源の有効活用

- 「湖レコ」を活用した迅速・科学的な資源管理の推進
- 気候変動を踏まえたアユ人工河川など増殖事業の推進

① 新 漁場生産力の評価と回復策の検討



農政水産部
水産課 (内3874)

食料安全保障につながる本県農業・水産業の推進

持続可能な滋賀の農村づくりの推進



人口減少社会を踏まえた多様な主体との連携促進による農村づくりの推進

【予算額 5.3千万円】

概要

- ・農村の課題に対応可能な部局横断のプラットフォームにより、地域の取組に対して、立上げから自立までプッシュ型で継続的にサポート
- ・これまで主に取り組んできた農業分野に加え、観光・教育・福祉分野等、多様な主体との連携を深化・拡大



地域を支えるプラットフォーム(市町・関係機関など部局横断で)
プッシュ型支援、地域の状況を常に把握、自立への課題を検討・対応、さらなるステップアップに誘導



New! プッシュ型で継続的なサポート

これまでの主なサポート期間(≒補助事業期間)

新たなサポート!

大丈夫ですよ!

中山間地域全体で
多様な主体との連携を目指す!

経過年数

新たなサポート!

一緒に考えて
いきましょう!

私たちだけで
やっていける
かな...

New! 他分野との連携した取組

プラットフォームでの検討・交流会の開催等を通じた観光
事業者・移住希望者等との連携、女性活躍の場の提供



自立した取組で
地域活性化!



今後も継続して
いけるかな...

農業分野での連携した取組
支え合いPJ、農村RMO 等による
地域の企業、大学等との連携



基礎的な活動

まると保全・中山間直払による農地・農業用施設の保全

県内の農業水利施設
世界かんがい施設遺産
龍ヶ池揚水機場 ▶
(R6.9登録)



魅力
発信!!



国外向け

国際水田・水環境ネットワーク
INWEPF

国内向け

語り部交流会 ▶



農業水利施設の大切さへの理解を広げ
地域活動への参画を拡大させ
農業・農村を健全な姿で次世代へ引き継ぐ

「琵琶湖システム」を活用した本県農業・水産業のファン拡大



世界農業遺産「琵琶湖システム」を次世代につなぎ、活かす取組の推進

【予算額 6.4千万円】

琵琶湖システムを次世代につなぐために

学ぶ 「琵琶湖システム」を学ぶ

- フローティングスクール等との連携による学習教材の更なる活用
- 学校・企業・団体への出前講座の実施



学習教材のさらなる活用



小学校での出前講座

琵琶湖システムを身近に感じるために

食す 「琵琶湖システム」を食す

- 新 若者によるオリジナルメニューブックの作成
- 新 北の近江の農山漁村のくらし・食文化のプロモーション
- 拡 県産野菜・湖魚を身近に感じる機会の提供
 - 飲食店等でのメニュー開発や弁当・惣菜への県産食材の活用、お土産の開発
- 拡 給食等での湖魚の活用
 - 関西圏・首都圏での琵琶湖システムフェア、ディナーイベントの開催
 - 魚のゆりかご水田米の提供機会の拡大



琵琶湖システムをより深く感じるために

訪れる 「琵琶湖システム」を訪れる

- 拡 「琵琶湖システム」を体験するコンテンツの強化
 - 体験コンテンツの現状分析、集客力向上対策
- 地域と企業等による琵琶湖システムを支える活動の促進
 - ゆりかご水田の生き物観察会の協働活動支援
- アグリツーリズムの推進
 - ワークショップの実施や専門家派遣等による地域の実施体制整備、コンテンツ充実に向けた支援



琵琶湖システムの魅力を広く伝えるために

発信 「琵琶湖システム」の発信機能を強化

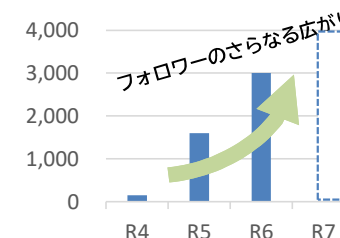
- HPを活用した「学ぶ」「食す」「訪れる」への誘導強化
 - グルメ開発したメニューや体験コンテンツを追加することにより「食す」「訪れる」アクションにつなげる

新 SNSによる魅力発信の強化

→ 生産者の声を届ける発信、モニターキャンペーンの実施、「おいしがうれしが」などとの連携

● 生産者による情報発信の促進

→ 生産者による情報発信スキルアップ研修の実施



シガリズムとの連携

地域資源を生かしたかわりづくりと世界とのつながり

シガリズムの推進

「世界とつながる滋賀」を意識した観光誘客と観光産業の活性化を推進

【予算額 5.5億円】



シガリズム ～絶好の好機を生かした誘客～

- 大型イベント等を契機とした観光誘客の展開
(「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」、大河ドラマ・戦国を生かした誘客)
- インバウンドに向けたプロモーションの強化
- 新 観光DXの強化



ここ滋賀 ～拠点機能の最大化～

- 観光コンシェルジュの設置等による滋賀への誘客機能強化
- 首都圏における高価格帯商品の販路開拓の推進
- 拠点を活用した滋賀ゆかりの人々のつながりの深化



ビワイチ ～「だれでも、いつでも、どこでも」楽しめる環境整備～

- 新 万博等を契機とした気軽なサイクリング体験の促進
- ビワイチアプリの利便性向上
- レンタサイクル途中返却拠点の拡充
- 世界での「ビワイチ」の更なる浸透



いよいよ開催！ 大阪・関西万博、国スポ・障スポ
県全体での盛り上げと観光誘客を促進!!

商工観光労働部
観光振興局 (内3741)
ここ滋賀 (03-6225-2951)

地域資源を生かしたかわりづくりと世界とのつながり

シガリズムの推進

大型イベント等を契機とした観光誘客の展開

「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」、大河ドラマ・戦国を生かした観光誘客



【予算額 1.8億円】

大阪・関西万博(4月～10月)

国スポ・障スポ(9月～10月)

大河ドラマ「豊臣兄弟!」(令和8年1月～)

安土城築城450年(令和8年1月～)

滋賀県観光キャンペーン

「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」



- 大阪・関西万博からの観光誘客
- 国スポ・障スポ大会での観光周遊

【事業概要】

- ・ 県内観光周遊企画の展開
- ・ 観光まちづくりの推進
- ・ EV観光周遊利用促進の展開
- ・ インバウンド向けビワイチの促進 など



令和7年11月以降

大河ドラマ・戦国を生かした観光誘客



- 大河ドラマ「豊臣兄弟!」による誘客促進・地域活性化
- 安土城築城450年での観光誘客

【事業概要】

- ・ 大河ドラマ関連事業(全県組織の設立、イベント等)
- ・ 戦国を生かしたプロモーション、コンテンツ造成
- ・ 市町、広域連携事業(スタンプラリー等)など



商工観光労働部
観光振興局 (内3741)

地域資源を生かしたかわりづくりと世界とのつながり

「世界とつながる滋賀」の推進

【予算額 1.74千万円】

「世界とつながる滋賀」に向けて、庁内関係部局と連携して、①「姉妹友好州省との交流の深化・発展」と②「新たな友好交流・海外に向けた県の魅力発信」を戦略的に進める。

①姉妹友好州省との交流の深化・発展 (1.01千万円)

ミシガン州

- ・新たな大学生交流プログラム準備
- ・友好親善使節団受入
- ・姉妹提携60周年を見据えた取組



ミシガン州立大学授業参加ミニツアーの様子(令和6年9月)



湖南省での平和祈念交流の様子(令和5年8月)

湖南省

- ・戦後80年平和祈念行事
- ・万博を契機とした代表団との交流
- ・民間交流支援

リオグランデドスール州(RS州)

- ・姉妹協定45周年訪伯団の派遣
- ・水害復興支援
- ・滋賀公園修復支援

RS州と「友好交流に関する確認書」に署名(令和6年11月)



②新たな友好交流・海外に向けた県の魅力発信 (0.73千万円)

オーストリア・ブルゲンラント州

- ・万博を契機とした交流の実施
- ・州代表団の来県受入、来県に合わせて、ピワイチロードの一部を「ブルゲンラントロード」に命名(予定)



「交流と協力に関する覚書」の締結と、「ブルゲンラントロード」予定地



ホーチミン市人民委員会主催フレンドシップダイアログ2022に参加

ベトナム

- ・真のパートナーシップの構築に向けた取組の実施(友好交流の覚書の締結)

県内外国人数最多(9,585人)

インド

人口世界1位
経済第5位

- ・訪問団を派遣し、グローバルサウスにおいて重要な存在であるインドと交流チャネルを構築



SHIGA インドビジネスセミナーの開催(令和6年9月)

その他の国及び地域等

- ・交流を通じて、滋賀県の魅力発信を行う。
韓国、台湾・香港、インドネシア、ウクライナ等

【参考】庁内各部局の海外展開予定 (一部抜粋)

オーストリア・ブルゲンラント州との文化・観光等交流	庁内各所属
世界湖沼会議への参加、湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信	琵琶湖保全再生課
外国人介護人材のマッチング支援、外国人介護職員の育成・定着支援	医療福祉推進課
グローバルサウスビジネス共創事業	商工政策課
ベトナムビジネスサポートデスクの開設、県内企業の海外展開支援	商工政策課
ベトナムとの人材交流事業	労働雇用政策課
観光プロモーション、インバウンドツアー造成等	観光振興局
県産農畜水産物の輸出促進・販路拡大	みらいの農業振興課
建設産業の担い手確保事業	技術管理課

総合企画部 国際課
077-528-3062 (内3062)

地域資源を生かしたかわりづくりと世界とのつながり

平和への思いを未来につなぐ ～ 戦後80年からその先へ ～

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



次世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継ぎ、ともに平和を守る社会を実現する

【予算額 0.8億円】

記憶とモノの継承・保存

- ⑨ 「令和の語り部」育成プログラムの構築
- ⑨ 平和祈念館における戦後80年企画展示、
沖縄、広島、長崎等類似施設との連携強化・移動展示
- ⑨ 平和講座、体験型イベント(80年特別企画平和祈念WEEK2025等)



「つたえる」

戦争の記録と教訓を未来へつたえる



国際平和交流の推進

- ⑨ 中国湖南省平和交流事業

「ひろげる」

平和のメッセージを世界にひろげる

次の世代のひとづくり

- ⑨ 学校や地域での平和学習活動支援
(戦争証言映像の企画制作、ピースメッセージ絵画コンクールなど)
- ⑨ 子ども県議会での学習機会の提供
- ⑨ 県戦没者追悼式への子ども・若者の参画
- ⑨ 平和祈念館の企画運営への大学生参画に向けたアプローチ



「つなげる」

世代間を平和でつなげる



平和への思いが語り継がれる未来

DX・EBPMの推進

改訂DX推進戦略に基づく、デジタル施策の
迅速かつ重点的な推進を目指す

【予算額 34.6億円】119事業



総合企画部
DX推進課（内3292）

全ての人がデジタル化の恩恵を 享受できる社会の実現



暮らしのDX

【予算額 5.3億円】

全ての県民が健康で快適な暮らしと、
環境に配慮した豊かな生活を実感

- 県民防災力向上のための防災プラットフォームの整備検討
- 新 歩数などの健康データおよび健診結果をもとにしたAI分析による生活習慣改善策の提案
- 新 AIチャットボットによる子どもの声の収集・分析・共有 など



産業のDX

【予算額 8.1億円】

高付加価値化や省力化、生産性・安全性の
向上による持続可能な産業の実現

- 新 データを利活用した観光DXの推進
- 新 人工衛星を活用した農地等の地滑り監視
- 新 リスキリング推進に向けた経営層のマインドチェンジ促進支援 など

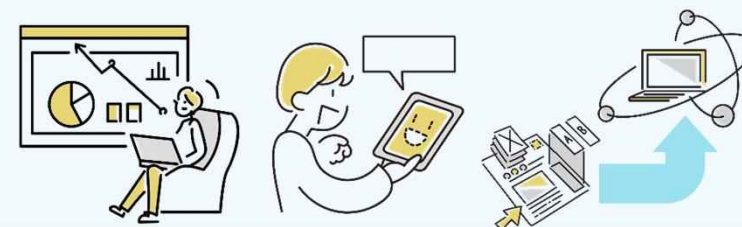


行政のDX

【予算額 6.1億円】

時間や場所を問わないワンストップで
県民本位の行政サービスの実現

- 新 庁内外のデータ連携・利活用の推進による、データに立脚した政策立案の推進
- 電子契約による契約締結の迅速化、コスト削減による業務効率化、事業者の負担軽減 など



基盤づくり ひとづくり

【予算額 15.1億円】

誰もが利用できる、参加できる環境の整備
とデジタル人材の育成・活躍

- デジタル技術を活用し、行政サービスの向上を図ることのできる人材の育成
- 誰もが安心してデジタルを活用できる環境整備

- 新 市町との共同利用ビジョンに基づく、
庁外データ連携基盤の整備 など



DX・EBPMの推進

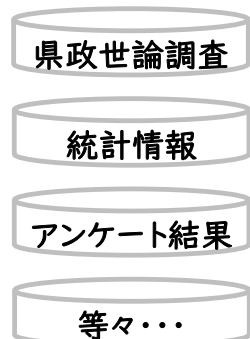
応答性のある施策づくり



豊富なデータ利活用の基盤となる環境を構築し、EBPMを推進するとともに、より応答性のある施策づくりを研究

【予算額 2.2千万円】

データの可視化・ダッシュボードの構築 新



集約



加工



ダッシュボードとしてデータを可視化

- 【市外】
 - オープンデータ化（データ連携基盤の活用）
- 【市内】
 - 政策立案等データ利活用の推進

➤ 県市内で保有する様々なデータを集約・加工

活用

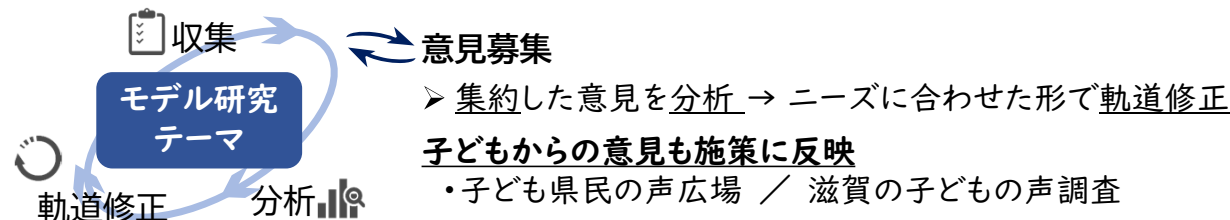
証拠に基づく政策立案（EBPM）の推進

- ✓ データ分析に基づいて、政策立案・事後評価を伴走支援
- ✓ 滋賀大学（データサイエンス学部）と連携
 - 専門的な分析や結果の解釈等への技術的助言
- 政策のPDCAサイクルにおける各プロセスにおいて、データ利活用を確立

総合企画部_企画調整課(内3312) / DX推進課(内3292) / 統計課(内3397)

応答性のある施策づくりのモデル研究

- ✓ 様々な意見に関するデータ（オープンデータやSNSの書き込み、AIを活用した自動応答システム等）を収集・分析 → モデル研究の対象テーマ（施策）を選定



施策・事業のブラッシュアップ

➤ 次年度の施策構築や次期基本構想実施計画につなげる

- CO₂ネットゼロ社会づくりの推進
- サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行
- 自然資本への投資の促進
- 「世界湖沼の日」
- 琵琶湖を取り巻く環境の保全・再生

CO₂ ネットゼロ社会
づくりやMLGsの推進

5

施策の柱

R3年度（2021年度）～

推進計画策定 ～2030年目標の設定～

- ・ 温室効果ガス排出量 50%削減
- ・ 再生可能エネルギー導入容量 2.1倍

R7年度（2025年度）

推進計画改定 ～2040年目標の設定～

家庭部門の対策の強化・再エネの導入拡大

R8年度（2026年度）～

新たな目標の実現を
目指して、**全部局で
施策を加速化**

① CO₂ ネットゼロにつながる
快適なライフスタイルへの転換

- ① 新築住宅のZEH化への支援
- ② 促進区域における家庭や事業者への
再エネ設備導入支援



3.9億円

② 自然環境と調和するCO₂を排出しない地域づくり

- ③ 公共交通機関の利用促進
- ④ 中小企業の脱炭素に向けた取組
の促進
- ・ オーガニック農業の推進

SHIGA
SMART
ACCESS
2040s



32.8億円

③ 新たな価値を生み出し
競争力のある産業の創出

- ⑤ GX技術シーズ群に係る研究開発や社会実装に
向けたプロジェクトの組成に向けた支援
- ・ CO₂ ネットゼロに貢献する製品の高付加
価値化、新産業の創造等の支援



1.9億円

④ 資源の地域内循環による地域の活性化

- ⑥ 農地の土壌炭素貯留量の見える化
および貯留を促進する栽培方法の検討
- ・ バイオマス利用の促進
- ・ 農地における地域主体の再生可能エネ
ルギー地産地消の取組支援



30.0億円

農道の法面を活用した太陽光発電

⑤ 革新的なイノベーションの創出

- ⑦ 県有施設へのペロブスカイト太陽電池の導入
- ・ 水素エネルギーの利活用の実証・拠点形成



etc

2.9億円

⑥ CO₂ ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出

- ⑧ わたSHIGA輝く国スポ・障スポでの
マイボトル持参の推進および給水所の設置
- ・ 次世代リポーターによる情報発信



etc

1.7億円

⑦ 気候変動への適応

- ・ 気候変動による琵琶湖の
環境への影響調査
- ・ 「きらみずき」の生産拡大



etc

2.1億円

⑧ 県における率先実施

- ⑨ 県有施設へのPPA方式による
太陽光発電設備導入
- ⑩ EVカーシェアリング
導入可能性調査
- ・ 県有施設のLED化



etc

25.8億円

総合企画部
CO₂ ネットゼロ推進課（内3490）

サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行



モノを捨てない、捨てさせない取組で、循環の輪の構築を目指す

【予算額 1.8千万円】

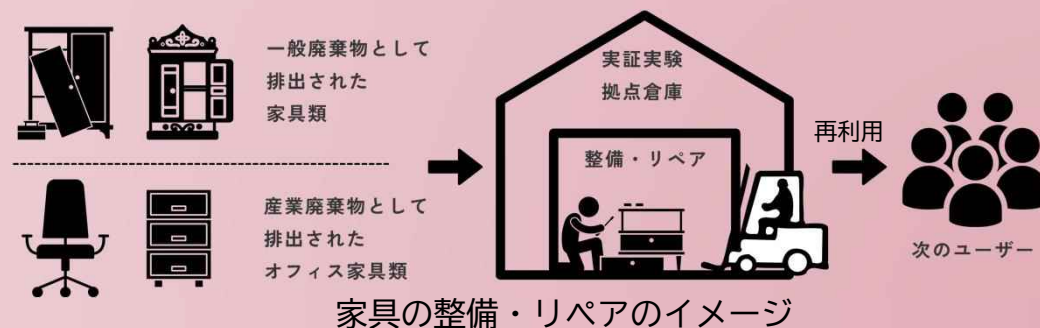
新 サークュラーエコノミー推進事業

『使えるモノは終わらせない、三方よしの価値循環』

- ・まだ使えるが、廃棄されている資源に着目
- ・廃家具の集積→整備（修理）→再利用（販売）の実証事業（実験）を実施
- ・リペア、リユースの課題・解決方法を明らかにして、価値循環の仕組みを構築

全国初！行政発！～みんなで取り組む

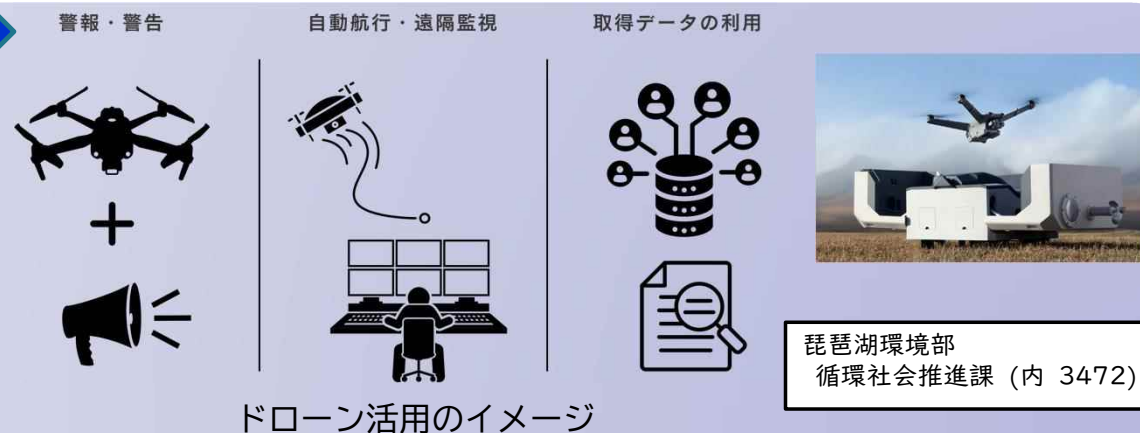
「長く使う」スタートアップ・プロジェクト～



拡 遠隔技術を活用した廃棄物の適正処理

『広域監視の新たな手法としてのドローン活用』

- ・巧妙化する不法投棄（短時間、ゲリラ的）に対応するため、有人監視とあわせた監視の実現
- ・実装に向けた実現性・有効性の検証
- ・法的課題、技術的課題、運用上の課題の洗い出し



琵琶湖環境部
循環社会推進課（内 3472）

自然資本への投資の促進

企業等と連携したネイチャーポジティブ（自然再興）の推進【予算額 0.5千万円】



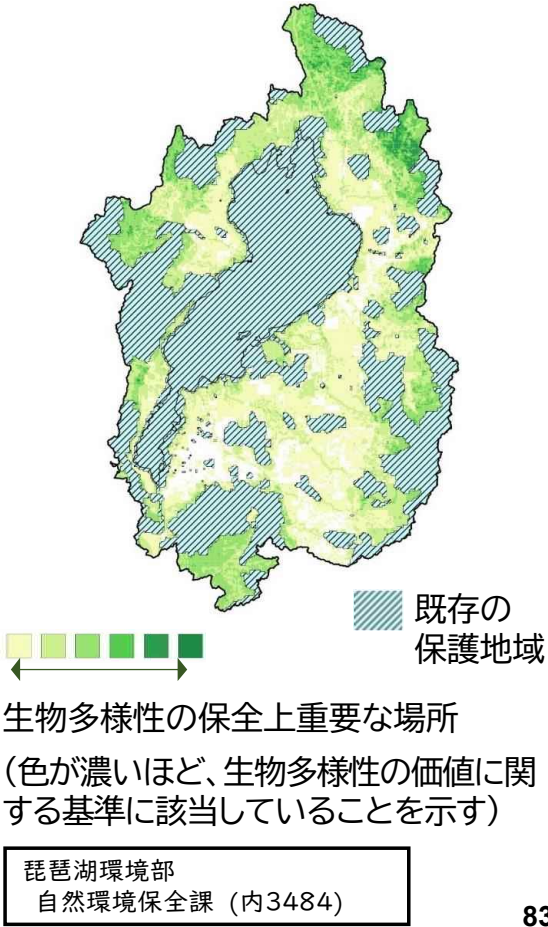
「生物多様性しが戦略2024」に基づき、
企業等をはじめ多様な主体による取組を促進

30by30目標

現状(2023)	目標(2030)
167,616ha (41.6%)	172,616ha (42.9%)

長期的には46.7% “琵琶湖(16.7%) + 30%”へ

しが戦略目標	視点	2025（令和7）年度の取組
保護・保全地域の拡大 2030年目標 ・ +5,000ha ・ 自然共生サイト25か所	企業との連携	企業等の取組により生物多様性の保全が図られている地域(OECM)を増やす → 自然共生サイトの新規開拓に向けて、保全の候補地域と保全の担い手や支援元となる企業とのマッチングを行い、生物多様性増進活動実施計画の策定を支援
多様な主体による生物多様性保全の取組を促進 2030年目標 ・ 認証者100者 ・ 全市町で地域戦略策定	企業との連携・部局連携	企業等による生物多様性の取組を促進 → しが生物多様性取組認証制度の見直し、インセンティブとなる仕組みの導入（公共調達における優遇、金融機関における融資との連携）
	大学・企業との連携	自然共生サイトを核とした生物多様性保全の取組を促進 → 自然共生サイト認定者間で持続的に取り組むための課題を共有 新 → 県南部において、大学や企業と連携した生物多様性保全の取組を促進
	市町との連携	市町における生物多様性地域戦略の策定を促進 → 「生物多様性しが戦略2024」における生物多様性のポテンシャルデータを活用し、市町の地域戦略策定を促進



自然資本への投資の促進

やまの健康2.0の推進



【予算額 2.2千万円】

民間投資を呼び込み持続可能な「やま」づくりを目指す

都市(企業)と「やま」をつなぎ、人や経済の循環を創出する「やまの健康」の実現にむけ、民間投資を呼び込みながら、持続可能な森林づくりや農山村の活性化につなげる。



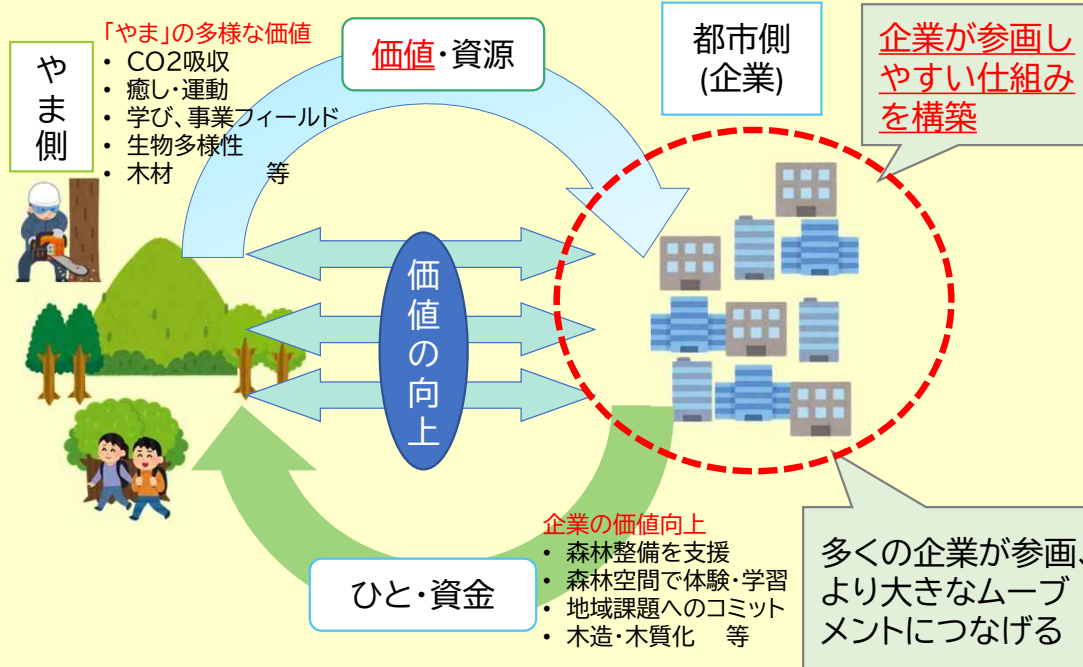
現状・課題

- ・企業の森林へ関心の増加等
- ・SDGs、MLGsの推進
- ・「世界湖沼の日」の制定

対応

- ・県内外の企業へのPR
- ・企業が関わるやま側のコンテンツの充実
- 新・より多くの企業が参加できる仕組みの構築

都市(企業)と「やま」をつなぎ「やまの健康の推進」



仕組づくり等

- ・「SDGs Week EXP0」等での企業へのPR
- ・やま側コンテンツの充実によるマッチングの推進
- ・「やま」に関わる企業のコミュニティ構築



企業等 × 「やま」の多様な価値

脱炭素

J-クレジットを活用した新たな仕組みによる森林整備の推進



森林公園魅力向上

企業や団体と協働による森林公園の魅力向上

近江富士花緑公園
山門水源の森 等



その他

- ・木材利用促進協定の推進
- ・森林×生物多様性
- ・造林公社林を含む奥地水源林管理の推進
- ・やまのこ施設の受入拡大

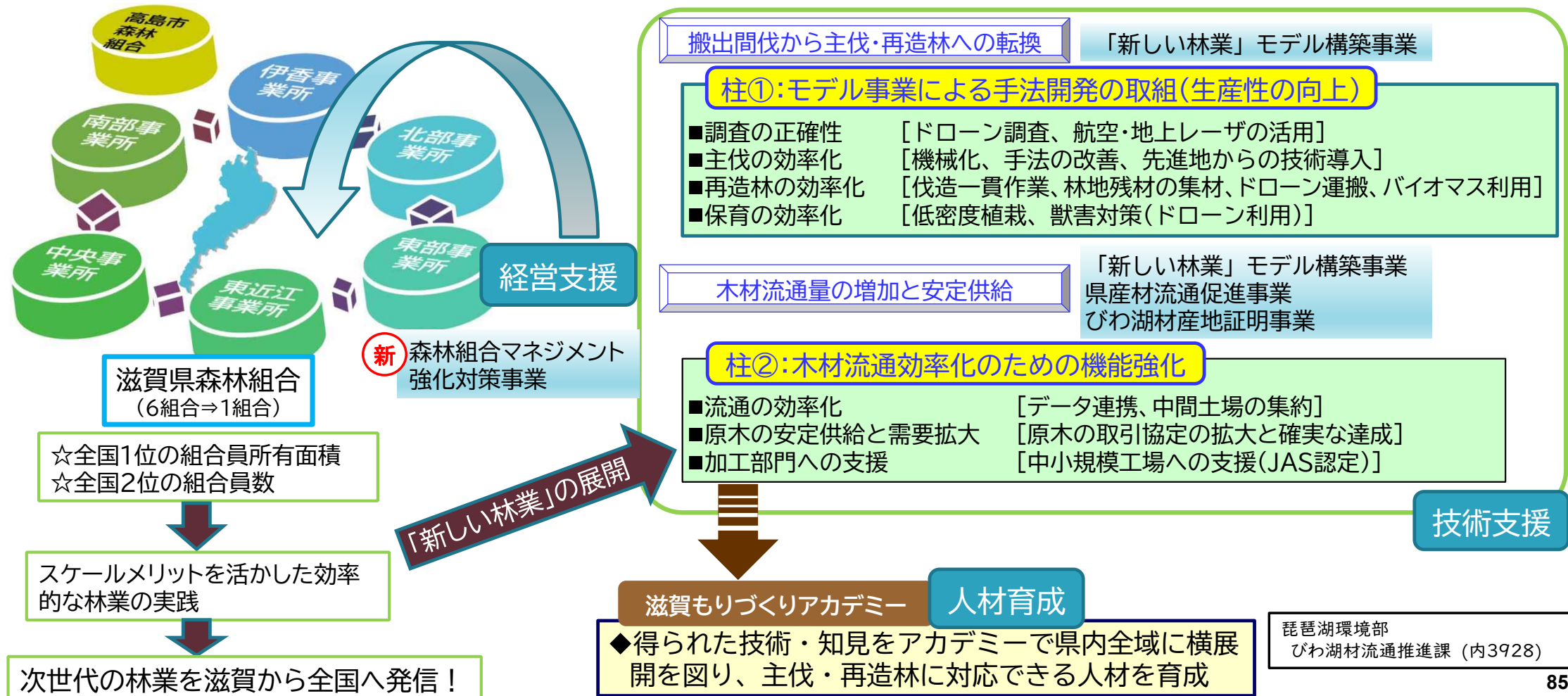
琵琶湖環境部
森林政策課(内3918)
森林保全課(内3930)
びわ湖材流通推進課(内3915)

自然資本への投資の促進 やまの健康2.0の推進



森林組合の合併・連携により林業の活性化を目指す

【予算額 3.0千万円】



「世界湖沼の日」

「世界湖沼の日」制定の経過

現在

2021年マザーレイク
ゴールズ (MLGs) 策定

2018, 19年全層循環
未完了
2017年琵琶湖保全再生
計画策定

1999年マザーレイク21
計画策定

1993年琵琶湖がラム
サール条約湿地に登録

1986年国際湖沼委員会
(ILEC) 設立 (草津市)

琵琶湖一斉清掃

1981年びわ湖の日 (7月1日)

1980年琵琶湖条例施行

石けん運動

1977年赤潮発生

各国や国際機関が湖沼の重要性を認識し、協働して湖沼および関連する生態系を持続可能な形で維持・保全・再生することとされた。「湖沼」が世界の水を巡る議論の主要課題に位置付けられることが期待される。

2015年琵琶湖保全再生法
施行

1999年琵琶湖の総合的な
保全のための計画調査策
定 (～2020年)

内陸工業県として琵琶湖周
辺に多くの人口・事業所を
抱える本県は、湖沼の環境
問題に世界に先駆けて対応

1972年琵琶湖総合開発特別
措置法施行 (～1999年)

2024年「世界湖沼の日」
制定 (8月27日)

2024年第10回世界水フォー
ラム (インドネシア) 開催

2023年第19回世界湖沼会
議 (ハンガリー) 開催

2003年第3回世界水フォー
ラム (琵琶湖淀川流域) 開催

2001年第9回世界湖沼会議
(琵琶湖・大津) 開催

1991年生態学琵琶湖賞創設

1984年第1回世界湖沼会議
(琵琶湖・大津) 開催
(8月27日～31日)

世界の湖沼環境の保全に係る行政
担当者、研究者、市民が一堂に会
し、ともに考え、手を携え具体的
な行動につなげていく契機とする
ため、本県が開催を提唱

過去

県内

国内

世界



2024年12月17日
採択を受けてくす玉
を割る三日月知事



2024年12月12日
国連総会でのイン
ドネシア政府代表



2024年5月
世界水フォーラム
で提案する三日月
知事



2023年11月
世界湖沼会議で提
案する江島副知事

約40年



昭和59年(1984年) 8月27日
第1回世界湖沼会議 (大津市) での
武村知事 (当時)

「世界湖沼の日」

【予算額 6.3千万円】



琵琶湖環境部
環境政策課 (内3355) 琵琶湖保全再生課 (内3460)
下水道課 (内4213) びわ湖材流通推進課 (内3928)
商工観光労働部 商工政策課 (内3715)

World Lake Day ～ 始まりはびわ湖 ～ #びわ湖から世界へ

みんなで、滋賀・びわ湖の“過去”を輝かせ、“いま”を輝かせ、“未来”を“世界”を輝かせるきっかけをつくり、持続可能な湖沼管理へ

① “過去”を輝かせる

- 先駆けて「成長の限界」に直面し、赤潮というびわ湖の悲鳴を聞いた先人たちのびわ湖への想いや情熱、行動に今、改めて光を当て蘇らせる。

② “いま”を輝かせる

- びわ活やネットゼロなどのMLGsの達成に向けた活動を充実・強化する。
- 気候変動の影響等、従来の取組だけでは解決できない湖沼環境の課題に挑戦する。

③ “未来”を“世界”を輝かせる

- ①②の成果等を
- しっかりと受け継ぎ、自らが学びを深め成長し、行動する若者を育成する。
- 世界に発信・貢献し、プレゼンスを高め、世界から見た滋賀・びわ湖の魅力・価値を更に高める。

4

①②③の成果等をみんなで対話し、共感を広げ、未来を共創する場
(新)「(仮称)世界湖沼の日 共創フォーラム」(R8年2月)

R8年度～



(ポストSDGsを視野に)
多様な主体とともにMLGsを議論

特に若者の力で時代を紡ぐ

3

“未来”を“世界”を輝かせる

(新)「世界湖沼の日」次世代育成 ・ニカラグア版うみのこの普及促進
(新)グローバルサウスビジネス共創事業
(新)世界湖沼会議への参加・発信／関西万博での発信
(新)国際首長フォーラムへの参加・発信
・Tech Tour SHIGAを窓口とした海外企業経済交流

2

“いま”を輝かせる

(拡)びわ活重点期間をびわ湖の日(7/1)から世界湖沼の日(8/27)まで拡大
(新)「世界湖沼の日2025」共創チャレンジ
(新)「(仮称)いのちを育む琵琶湖を目指す検討会」(気候変動影響等による湖沼環境課題への挑戦)
・県内企業と連携した水関連事業のベトナム等への国際展開 ・琵琶湖疏水を通じた京都市との連携
・オーストリアとの林業を通じた交流 ・みんなのBIWAKO会議などMLGsの推進
・環びわ湖大学・地域コンソーシアムでの企業、大学に向けた発信・連携

1

“過去”を輝かせる

(新)琵琶湖保全再生レガシー継承(高校生等が先人たちの想いや情熱、行動等を取材／琵琶湖保全再生のこれまでの歩みのアーカイブ化／公開等)
(新)琵琶湖博物館での「世界湖沼の日」記念事業
・県広報媒体を活用して琵琶湖保全再生法や「世界湖沼の日」制定までの歴史を広く周知

琵琶湖保全再生計画
(第3期)の検討・策定

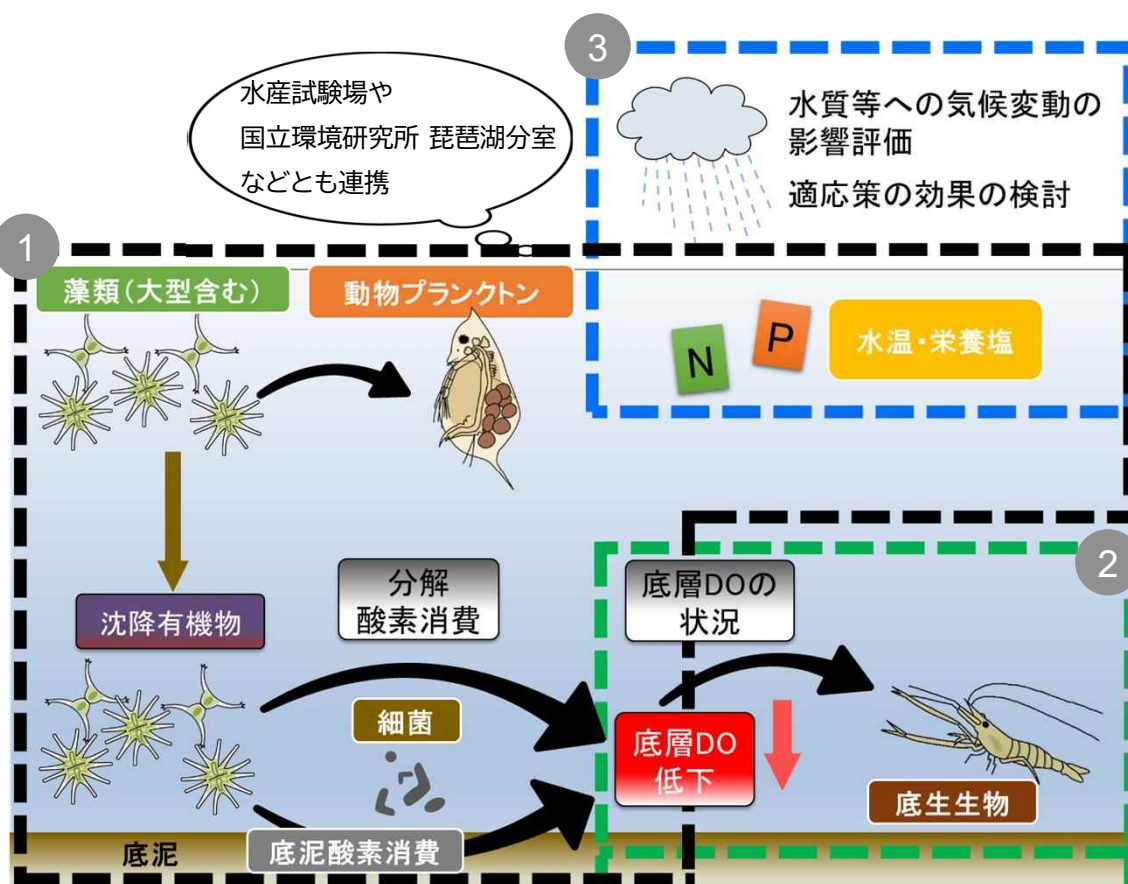
多様な主体との連携
部局横断の取組

琵琶湖を取り巻く環境の保全・再生



気候変動が琵琶湖北湖の水質や生態系に及ぼす複合的な影響の評価とともに、気候変動適応策の方向性について提言する。

【予算額 6.0千万円】



気候変動が琵琶湖の水質・生態系にもたらす影響と適応策に関する研究

琵琶湖環境科学研究センター第7期中期計画(令和5年度～令和7年度)

- 1 気候変動が表層の生態系と底層の貧酸素化にもたらす影響の評価
- 2 気候変動の影響評価に向けた底生生物の分布の把握
- 3 全層循環未完了が水質に及ぼす影響のモデル解析と適応策の検討

琵琶湖環境部
環境政策課(内 3453)
琵琶湖環境科学研究センター(077-526-4800)

琵琶湖を取り巻く環境の保全・再生

伊吹山の保全・再生

【予算額 1.3億円】



現状と課題

- ・シカの食害等により南側斜面の草原植生が衰退・裸地化
- ・勝山谷川からの土砂流出により麓の集落や道路等が複数回にわたり被災

土砂災害対策や植生復元事業により、地域生活の安全・安心の確保と緑豊かな伊吹山を復旧

◆琵琶湖環境部

- A、C(復旧): 自然環境保全課(内3480)
- F: 自然環境保全課鳥獣対策室(内3489)
- B、E: 森林保全課(内3932)
- ◆土木交通部
- C(維持管理): 道路保全課(内4133)
- D: 流域政策局砂防室(内4194)

①南側斜面の復旧対策

浸食溝や裸地の拡大を抑制し、治山事業や、植生復元事業により緑化を進め、斜面を安定化
登山道の復旧・維持管理



②勝山谷川土砂災害対策

令和6年7月の3回にわたる土砂流出を受け、緊急対策と抜本対策により、さらなる伊吹集落への土砂災害に備え



堰堤設置事例

③ニホンジカ捕獲推進

市の捕獲事業への支援や生息状況調査結果の活用により、効果的な捕獲を推進し、採食圧を低減



伊吹山保全対策滋賀県・米原市合同プロジェクトチームで検討・実施

①南側斜面の復旧対策

- A: 植生復元事業[参考]R6年11月補正予算
植生基盤を造成し植生を復元
市が行う植生復元事業への支援
- B: 治山事業(山腹工等)
ガリ浸食の拡大防止、植生基盤の造成
- C: 登山道の復旧・維持管理
登山道の修繕、復旧に向けた維持管理

③ニホンジカ捕獲推進

- F: 市のシカ捕獲への支援、生息状況調査、試行捕獲

②勝山谷川土砂災害対策

- D: 砂防堰堤新設[参考]R6年9月補正予算
砂防堰堤1基を新設
- E: 治山堰堤新設[参考]R6年11月補正予算
治山堰堤1基を新設

[参考]令和6年度(9月・11月)補正予算額 10.7億円

県北部地域の振興

集中的な取組

北の近江振興プロジェクト ～県北部地域の目指す地域像に向けて～



総合企画部
新駅問題対策・特定プロジェクト推進室
(北の近江振興事務所：0749-53-2801)

	R5 (PJ始動)	R6 (多面的展開)	R7 (重点取組期間折り返し)	R8 (ブラッシュアップ)	R9 (持続的発展)	【予算額 3.9億円】 目指す姿
①住み続けたい 還りたい 北部へ	農山村版ワーキングホリデーの実施 →北部3市3地区で計13名参加	医療的ケア児・者の受入体制整備や女性活躍の就労、キャリアアップを支援	文化・伝統の継承 アートで北部を盛り上げる 【美術館(077-543-2111)・文化芸術振興課(内3340)】 「食」と「観光」の発信 湖北のくらしや食文化のプロモーション 【農政課(内3825)】 など6事業 46百万円	4つのテーマ 「食」と「観光」の発信		人やまちが 活き活きと 賑わう北部 地域 <目標> 移住+地域とつながる人(関係人口)を3千人増やす
②挑戦する若者が 育ち・集う北部へ	北の近江振興高校生サミットの開催 →北部の高校9校の生徒達が研究成果を発表・提案	プロフェッショナル人材戦略拠点の北部サテライトの設置や「みおしずく」等の園芸産地の育成	アイデア・技術で創る新時代 働きながら旅する人と事業者をマッチング 【北の近江振興事務所(0749-53-2801)】 支えあいの社会 潜在保育士の人材確保 【子育て支援課(内3557)】 など9事業112百万円	文化・伝統の継承 アイデア・技術で創る新時代 支えあいの社会	さらなる「高み」を目指して、持続的に発展	
③訪れたい 北部へ	地域資源の可能性を検討 →各市にコーディネーターを配置し、共通テーマ案を策定	「北にきんせ音楽会」や「旅する滋賀のモノづくり展」、湖西線開通50周年記念事業などを開催	「食」と「観光」の発信 インバウンド向けの魅力発信 【観光振興局(内3744)・環境政策課(内3354)】 「食」と「観光」の発信 首都圏から「豊臣兄弟！」の舞台へ 【ここ滋賀(03-6225-2951)】 など10事業121百万円	に基づき、事業をブラッシュアップ		
連携・協働	福井県とのオーバールージュ構想					
特別プロジェクト (市の取組を支援)	長浜450年戦国フェスティバルやJR近江今津駅リニューアル、伊吹山再生プロジェクトなどを支援	若者の定住のための生活支援対策や文化財施設の再編、高校への通学支援対策などを支援	県の取組との相乗効果が期待できる、長浜市、高島市および米原市の主体的な取組を支援 【市町振興課(内3243)】 100百万円			
	県北部地域への移住者 339名	クラウドファンディング支援者 603名 (R7.1.28現在) ここ滋賀旅行割利用者 149名 (R6.12.31現在)	各分野の課題にも着実に対応 ◆伊吹山の保全…土砂災害対策や植生復元事業を着実に推進 ◆産業用地の開発…新たな産業用地の開発に着手 ◆余呉地域振興…余呉地域振興事業交付金により地域の活性化を推進 ◆新たに、周産期遠隔医療やZEH新築の支援に着手			